



白川 みどりの区間



国道3号 植木・熊本北バイパス



国土交通省



事業概要 2023

Rivers and Roads of KUMAMOTO

国土交通省 九州地方整備局
熊本河川国道事務所

<http://www.qsr.mlit.go.jp/kumamoto/>



自治体が管理する橋梁の点検



Roads



Rivers

緑川・浜戸川 高潮対策事業(網津地区)



熊本河川国道事務所は、

活力ある地域社会の構築、安全・安心な街づくりなど
質の高い社会資本の整備をすすめます。
地域のみなさんとのコミュニケーションを大切にして
川づくり、道づくりをすすめます。
熊本の歴史や文化、自然と調和した
美しい公共空間を創出します。

熊本河川国道事務所は、白川、緑川の川づくりと、
国道3号、57号、208号、九州中央自動車道の道づくりを通じて
熊本のふるさとづくりに貢献します

共 通

INDEX

INDEX	1	地域（地方自治体等）への支援
事務所の組織と各課の役割	2	防災支援
		災害対応支援
		防災情報提供

川づくり

白川流域の概要・特徴	3
白川の主な洪水	4
白川の整備	5
白川の河川利用	6
緑川流域の概要・特徴	7
緑川の主な洪水	8
緑川の整備	9
流域治水プロジェクト	11
環境整備事業(かわまちづくり)	11
河川管理	12
河川管理の課題	13
流域連携・地域連携	14

※国が管理する河川は熊本県内では白川、緑川の他に
菊池川、球磨川がありそれぞれ菊池川河川事務所、
八代河川国道事務所が担当しています。

道づくり

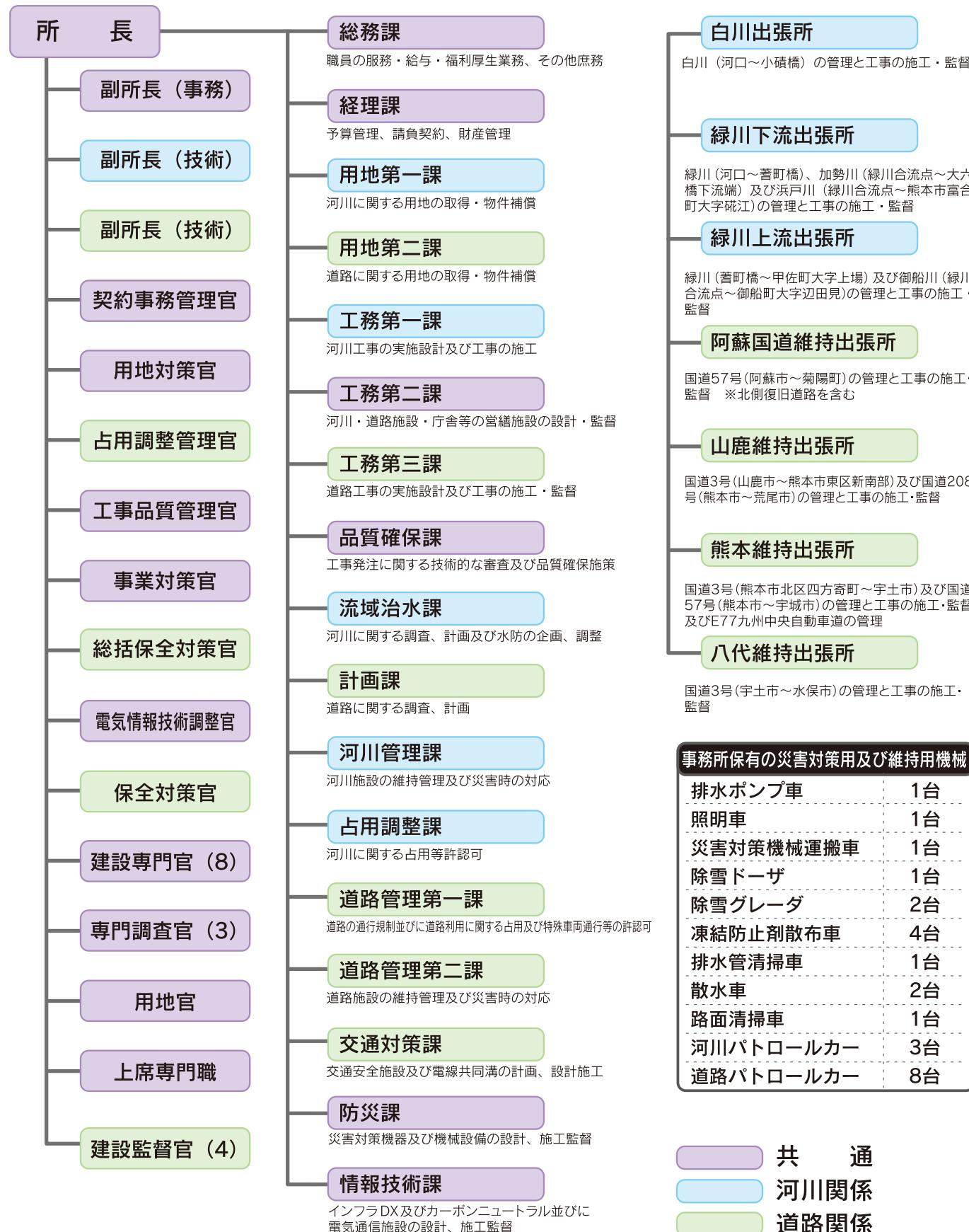
熊本の道路	15
熊本都市圏の交通の特徴	16
熊本都市圏における円滑な 交通ネットワークの形成	16
事業中の改築箇所	17
安心・安全の確保	21
地域との交流	27

※南九州西回り自動車道(国道3号)は、令和2年度より
八代河川国道事務所が整備・管理を担当しています。
(八代JCT～日奈久ICは、NEXCO西日本が担当しています。)





事務所の組織と各課の役割



当事務所の概要については、下記のホームページアドレスからもご覧いただけます。

<http://www.qsr.mlit.go.jp/kumamoto/>
「熊本河川国道」で検索!!

当事務所へのお問い合わせメールアドレスはこちらです。
qsr-kumamoto-kouhou@ki.mlit.go.jp

共通

河川関係

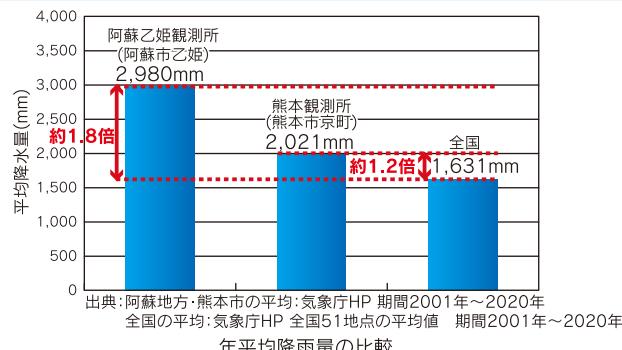
道路関係

白川流域の概要・特徴

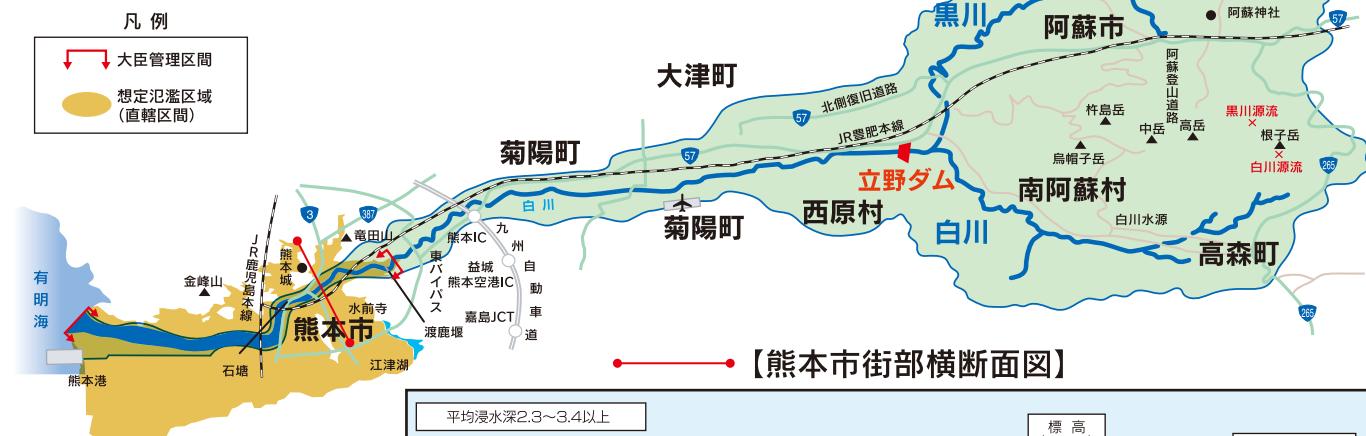
白川は阿蘇カルデラの中の根子岳に源を発し、阿蘇外輪山の切れ目である立野火口瀬で黒川と合流した後、中流部の豊かな穀倉地帯を流れ、下流部では熊本市を貫流し、有明海に注ぎます。

源流域面積	熊本県阿蘇郡高森町阿蘇根子岳 480km ² (九州 14 位)
幹川流路延長	74km (九州 9 位)
大臣管理区間	17.3km (ダム管理区間を除く)
流域内市町村	2市3町2村 熊本市、阿蘇市、菊陽町 大津町、高森町、西原村、南阿蘇村
流域内人口	約 14 万人
想定氾濫区域内面積	約 136km ²
想定氾濫区域内人口	約 31 万人

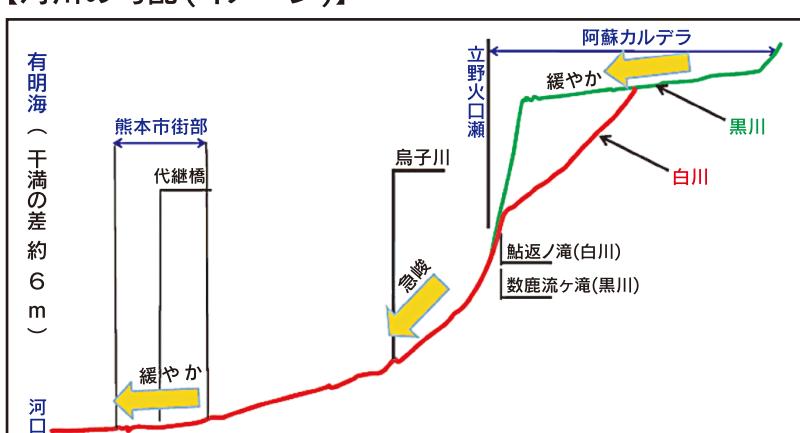
※国土交通省HP分野別統計データより



【白川流域図】



【河川の勾配(イメージ)】



白川が周辺地盤よりも高くなつており、一度氾濫すると甚大な浸水被害が発生。

白川の河川特性

- 阿蘇カルデラに降った雨は、立野火口瀬から一気に流下し、勾配が緩やかになった熊本市街部で流れにくくなる。
- 阿蘇カルデラに降った雨は、約2時間半で熊本市街部に到達する。
- 有明海の干満差は約6mと大きく、満潮と洪水が重なると、河川水位が上昇しやすい。

白川の主な洪水

昭和28年6月洪水(白川大水害)



6月26日に西日本一帯を梅雨前線による集中豪雨が襲い、各地の川で大洪水が発生しました。

白川においても、26日の日雨量は熊本観測所で412mm、内牧観測所で441mm、黒川で500mmとなり、6月初旬から阿蘇地方で降った大雨で地盤が弛んでいたところへの集中豪雨でした。

山崩れが発生し、大量のヨナ（火山灰）と流木を含む濁流により橋や堰が流され、堤防が決壊し、熊本市街部は大規模な浸水に見舞われるとともに、大量の泥土に覆われました。

死者・行方不明者	422名	家屋全半壊	9,102戸
床上浸水	11,440戸	床下浸水	19,705戸

昭和55年8月洪水



8月28日から九州北部に停滞していた前線の影響で、29日未明から午後にかけて熊本県北東部、29日夜から30日未明にかけて熊本県北部が集中豪雨に見舞われました。

降り始めからの連続雨量は、阿蘇黒川観測所で最大666mm、熊本観測所で334.5mmを記録し、白川では水が氾濫し、熊本市街部に被害をもたらしました。

代継橋観測所（熊本市）では、30日8時に最高水位**5.88m**に達しました。

死者・行方不明者	1名	家屋全半壊	18戸
床上浸水	3,540戸	床下浸水	3,245戸

平成2年7月洪水



7月2日に九州南部に停滞していた梅雨前線が北上し、熊本県北部、阿蘇地方が集中豪雨に見舞われました。

阿蘇山観測所の7月1日23時～7月2日23時までの累加雨量は341mm、時間最大雨量で50mmの降雨となり、白川では13箇所から水が氾濫し、熊本市街部に被害をもたらしました。

代継橋観測所（熊本市）では、2日13時30分に最高水位**5.79m**に達しました。

死者・行方不明者	14名	家屋全半壊	146戸
床上浸水	1,614戸	床下浸水	2,200戸

平成24年7月洪水



7月11日から14日にかけて、本州付近に停滞した梅雨前線に向かつて南から非常に湿った空気が流れ込み、九州北部では記録的な豪雨となりました。

国土交通省の坊中雨量観測所（南阿蘇村）では最大1時間雨量が124mm、最大3時間雨量が315mmとなり、短時間に記録的な大雨となりました。

代継橋観測所（熊本市）では、12日10時30分に観測史上第1位となる**6.32m**に達しました。

死者・行方不明者	25名	家屋全半壊	183戸
床上浸水	2,011戸	床下浸水	789戸

※被害の概要是「昭和28年西日本水害調査報告書（土木学会西部支部）」、「熊本県災異誌（熊本地方気象台）」、「防災・消防・保安年報（熊本県）」、出水記録及び熊本河川国道事務所調査結果による。平成24年7月洪水は国土交通省及び熊本県による調査結果。

※被害の数値には内水被害、土砂災害を含む。

白川の整備(河川整備基本方針・河川整備計画)

河川について

道路について

共通概要

白川水系河川整備基本方針(平成12年12月策定)

白川水系河川整備基本方針は、昭和28年6月洪水等の既往洪水を踏まえ、計画を策定しています。

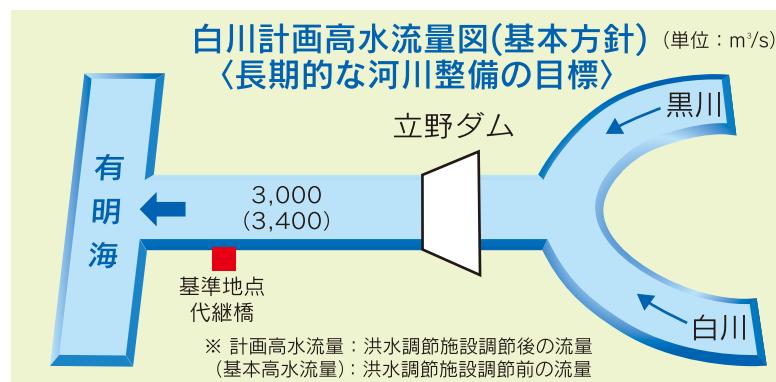
具体的には、洪水ピーク流量を基準地点「代継橋」地点で **3,400m³/s** とし、そのうち流域内の洪水調節施設により **400m³/s** を調節して、河道の配分流量を **3,000m³/s** とします。

昭和28年6月洪水に相当する洪水規模を目指しています。

(年超過確率 **1/150** の規模の洪水)

計画規模：白川流域の2日総雨量 **553mm**

想定最大規模：白川流域の2日総雨量 **860mm**



白川水系河川整備計画(令和2年1月変更)

従来計画に基づく河川整備の進捗状況のほか、計画策定以降の河川を取り巻く社会状況の変化、今後の気候変動への適応等を踏まえ、白川の治水安全度の更なる向上を目指し、「白川水系河川整備計画」を変更しました。

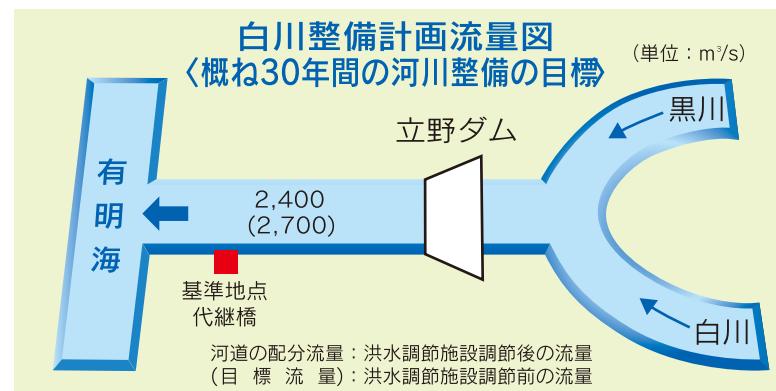
●整備計画



白川水系河川整備計画は、白川水系河川整備基本方針を基に、今後概ね30年間で実施する整備目標を定めたものです。

具体的には、洪水ピーク流量を基準地点「代継橋」地点で **2,700m³/s** とし、そのうち流域内の洪水調節施設により **300m³/s** 調節して、河道の配分流量を **2,400m³/s** とします。

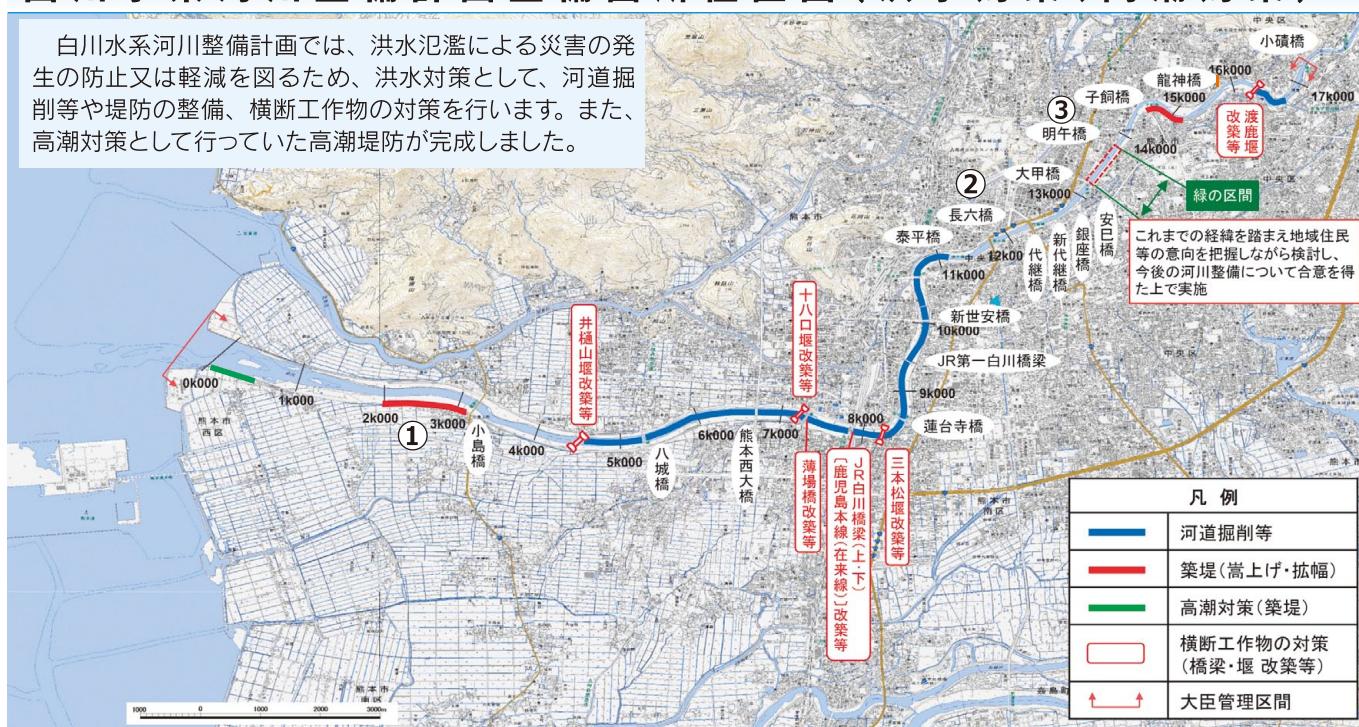
(年超過確率 **1/60** の規模の洪水)



白川の整備(現在の主な改修事業)

白川水系河川整備計画整備箇所位置図(洪水対策、高潮対策)

白川水系河川整備計画では、洪水氾濫による災害の発生の防止又は軽減を図るため、洪水対策として、河道掘削等や堤防の整備、横断工作物の対策を行います。また、高潮対策として行っていた高潮堤防が完成しました。

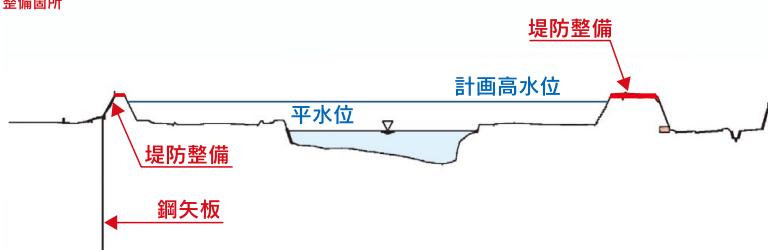


洪水対策

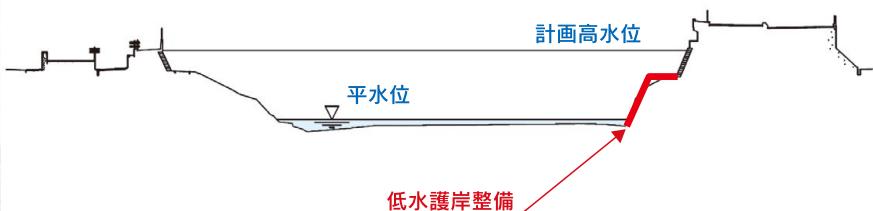
- **堤防築堤** ① 堤防が低く高水の恐れがある中原地区、小島地区において、整備計画流量の洪水に対し安全性を確保できるよう築堤を整備します。



赤字：整備箇所



- **護岸整備** ② 河川整備計画の目標流量を安全に流下させるために、低水護岸の整備を行います。



- **市街部改修及び
三本松堰改築の検討** ③ 河川整備計画の目標流量を安全に流下させるために、緑の区間(大甲橋から明午橋区間)の堤防嵩上げを行います。また、三本松堰改築の検討を進めています。



白川の河川利用

河川空間のオープン化(都市・再生等利用区域の指定)

白川「緑の区間」では、白川「緑の区間」利活用推進協議会が占用主体となり、都市・地域再生等利用区域に指定され、「白川夜市」の開催など水辺の賑わい創出や地域の活性化の取組が行われています。

今後も一般の方々や民間事業者のアイデア・活力を活かした様々な取組を実施することにより、官民の連携及び河川敷を利活用しての中心市街地の活性化が大いに見込まれています。



白川夜市の開催の様子



緑川について

緑川流域の概要・特徴

河川について

道路について

共通概要

緑川は、その源を熊本県上益城郡山都町の三方山に発し、御船川等の支川を併せて熊本平野を貫流し、下流部において加勢川、浜戸川と合流し有明海に注ぐ一級河川です。

流域には、歴史的な土木施設・かんがい施設や良好な自然環境、河川景観を有しています。

＜緑川流域図＞



＜緑川流域の諸元＞

源流	熊本県上益城郡山都町三方山	
流域面積	1,100km ² (九州7位)	
幹川流路延長	76km (九州7位)	
大臣管理区間	55.2km(ダム管理区間を除く)	
緑川	30.8km	加勢川 13.1km
浜戸川	4.9km	御船川 6.4km
流域内市町村	4市8町1村	
	熊本市、宇土市、宇城市、八代市、嘉島町、益城町、菊陽町、大津町、御船町、甲佐町、美里町、山都町、西原村	
流域内人口	約54万人	
想定氾濫区域内面積	約172km ²	
想定氾濫区域内人口	約19万人	

※国土交通省HP分野別統計データより



緑川河口部（熊本市、宇土市）



緑川中流部（甲佐町、美里町）



緑川上流部【緑川ダム】（美里町）



支川御船川（御船町）



支川加勢川（熊本市、嘉島町）



支川浜戸川（宇土市）

歴史的にも重要な文化遺産が数多く残っています。



熊本藩川尻河港跡（熊本市）

加藤清正が築造したともいわれる河港跡の階段護岸
【国指定史跡】



二俣橋（美里町）

ハートの見える石橋として知られ、川面を見ると太陽の光がハートに輝いて見えます

豊かな自然環境に恵まれています。



ヨシ原（熊本市・宇土市）

河口部に広がるヨシ原は環境省より重要湿地にも指定されています



津志田河川自然公園（甲佐町）

キャンプやバーベキューを楽しむ人達で賑わいを見せる河川公園です

緑川の主な洪水

昭和63年5月洪水(御船川洪水)



梅雨前線の影響に伴い、昭和63年5月3日から4日にかけて集中的な豪雨となり、御船川流域の島木雨量観測所では1時間に94mmを記録、御船水位観測所では**計画高水位を約1.8m上回る6.46m**に達しました。この洪水により御船川に架かる眼鏡橋が流失するとともに、**八竜橋上流右岸の堤防決壊**により、甚大な被害が発生しました。

死者・行方不明者	3名	家屋全半壊	79戸
床上浸水	2,849戸	床下浸水	4,877戸

平成9年7月洪水



梅雨前線の影響に伴い、平成9年7月8日から11日にかけて、激しい雨が断続的に降り続きました。

緑川流域においても津森雨量観測所では1時間に47mm、総雨量917mmを観測し、加勢川の大六橋水位観測所では**計画高水位を約10cm上回る5.00m**に達しました。

家屋全半壊	9戸
床上浸水	132戸

床下浸水	1,200戸
------	--------

平成11年9月台風18号



大型で非常に強い台風18号が9月24日未明に天草を通過し、熊本県北部に上陸。

緑川河口、浜戸川が折しも大潮と重なり、**堤防を越水し、家屋浸水被害等が発生**しました。

死者・行方不明者	1名
床上浸水	254戸

床下浸水	124戸
------	------

平成19年7月洪水



梅雨前線の影響に伴い、平成19年7月6日未明から降り続いた雨は熊本県各地に激しい降雨をもたらし、各地で記録的な豪雨を観測しました。

緑川流域においても、時間雨量30mmを越える集中豪雨が数時間続き、内大臣雨量観測所で542mmを観測。

中甲橋水位観測所では、**はん濫危険水位を47cm超え、観測史上1位となる5.07m**に達しました。

家屋全半壊	15戸
床上浸水	69戸

床下浸水	497戸
------	------

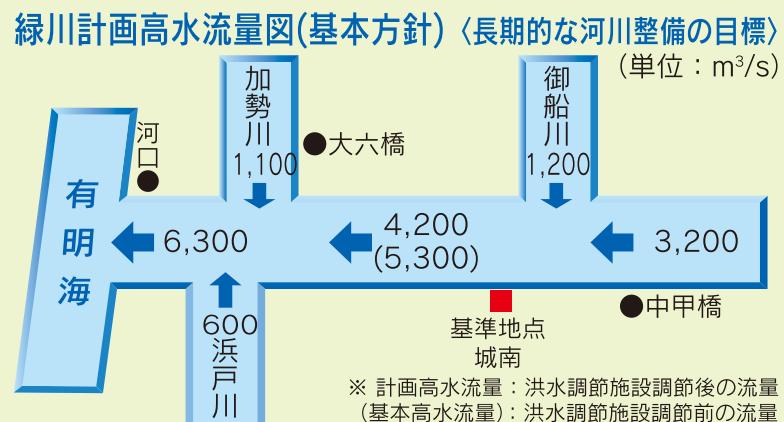
緑川の整備(河川整備基本方針・河川整備計画)

緑川水系河川整備基本方針(平成20年7月策定)

緑川水系河川整備基本方針は、昭和28年6月洪水等の既往洪水を踏まえ、計画を策定しています。

具体的には、洪水ピーク流量を基準地点「城南」地点で **5,300m³/s** とし、そのうち流域内の洪水調節施設により **1,100m³/s** を調節して、河道の配分流量を **4,200m³/s** とします。
(年超過確率1/150の規模の洪水)

計画規模：緑川流域の12時間総雨量279mm
想定最大規模：緑川流域の12時間総雨量595mm

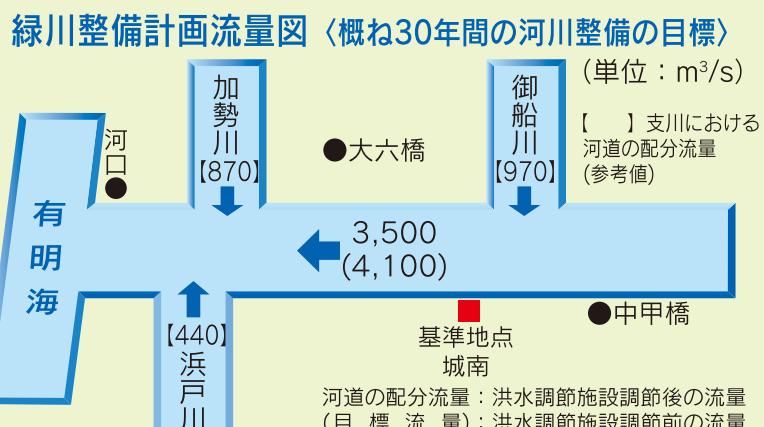


緑川水系河川整備計画(平成25年1月策定)

緑川水系河川整備計画は、緑川水系河川整備基本方針を基に、今後概ね30年間で実施する整備目標を定めたものです。

具体的には、洪水ピーク流量を基準地点「城南」地点で **4,100m³/s** とし、そのうち流域内の洪水調節施設により **600m³/s** を調節して、河道の配分流量を **3,500m³/s** とします。
(年超過確率1/30の規模の洪水)

昭和18年9月洪水に相当する洪水規模を目標にしています。



緑川水系河川整備計画整備箇所位置図



緑川の整備(現在の主な改修事業)

高潮対策事業(緑川・浜戸川)

台風接近の際、高潮による被害が発生する恐れのある河口付近において、第1段階として平成11年台風18号規模の高潮被害の解消を目的にT.P.4.5m(高潮Ⅰ期)の堤防整備を進めてきました。第1段階の整備が進捗したことから、令和2年度より防災・減災、国土強靭化のための5か年加速化対策を含めて次の段階のT.P.6.0m(高潮Ⅱ期)までの高潮堤防整備に着手しており、令和5年度も引き続き整備を進めています。



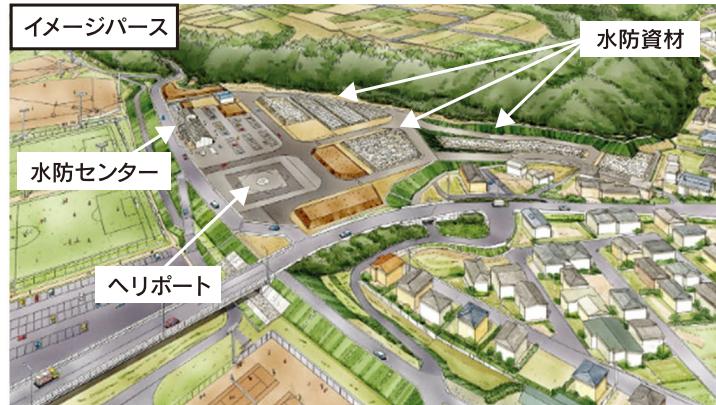
洪水対策(緑川・加勢川)

緑川本川及び支川の加勢川等においては、河川整備計画の目標流量規模の洪水が発生した場合でも浸水被害の防止又は軽減を図ることを目的として、防災・減災・国土強靭化のための5か年加速化対策を含めて、堤防整備・河道掘削を行います。



船津地区河川防災ステーション(緑川)

船津地区において、緑川上流部における災害時の迅速かつ円滑な復旧活動を行うための防災拠点整備を実施しています。整備内容は、復旧活動に必要となる水防資材の備蓄、ヘリポート等のほか、甲佐町による水防活動を円滑に行う拠点となる水防センターの設置を予定しており、令和5年度も引き続き整備を進めていきます。



流域治水プロジェクト

気候変動による水災害リスクの増大に備えるためには、これまでの河川管理者等の取組だけでなく、流域に関わる関係者が、主体的に治水に取り組む社会を構築する必要があります。

従来の河川事業等による治水対策+αの対策として、あらゆる関係者（国・都道府県・市町村等）により流域全体で行う「流域治水」を実施していくことで、防災・減災の強化を図ります。

白川・緑川水系においては令和2年9月に「白川・緑川水系流域治水協議会」を設置し、関係者と連携して対策メニューの検討を進め、令和3年3月の協議会においてプロジェクトを策定しました。

また、行政機関以外の方々（住民や企業等）でも取り組める内容を紹介した流域治水パネル「白川・緑川流域治水やるばい宣言」を作成し、管内の各種イベント等で紹介するなど、流域治水プロジェクトの取り組み推進を図っています。

白川・緑川水系流域治水プロジェクトURL

http://www.qsr.mlit.go.jp/kumamoto/river/ryuuiki_chisui.html

流域治水のイメージ



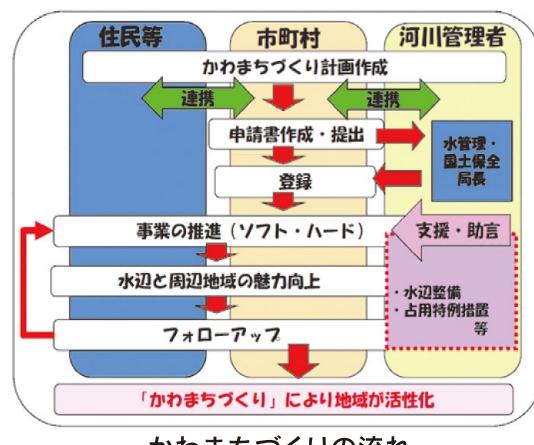
環境整備事業(かわまちづくり)

かわまちづくり支援制度～良好なまち空間と水辺空間の形成～

観光などの活性化に繋がる景観・歴史・文化等の河川がある地域の魅力という「資源」や地域の創意としての「知恵」を活かし、地方公共団体や地元住民との連携のもとで立案された、実現性の高い河川や水辺の整備・利活用計画による、良好なまちと水辺が融合した空間形成の円滑な推進を図ります。

市町村において作成された「かわまちづくり」計画に基づき、整備を行います。

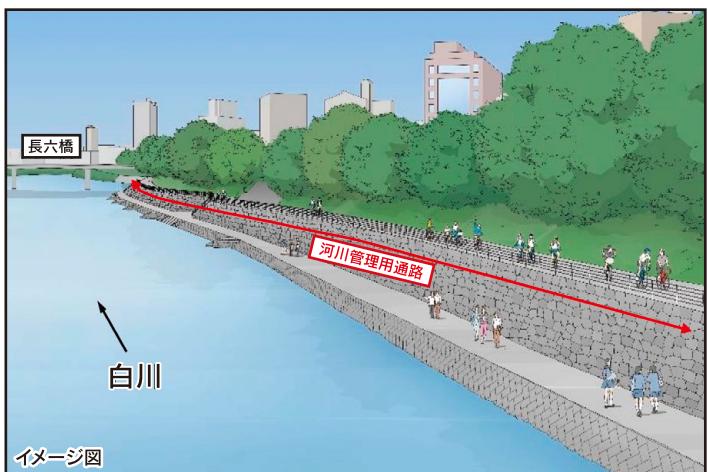
- ①地域の創意としての「知恵」を活かした計画を対象
- ②利活用方策が地域において明確となっているものを対象
- ③施設の維持管理に地域の協力が得られるものを対象



かわまちづくりの流れ

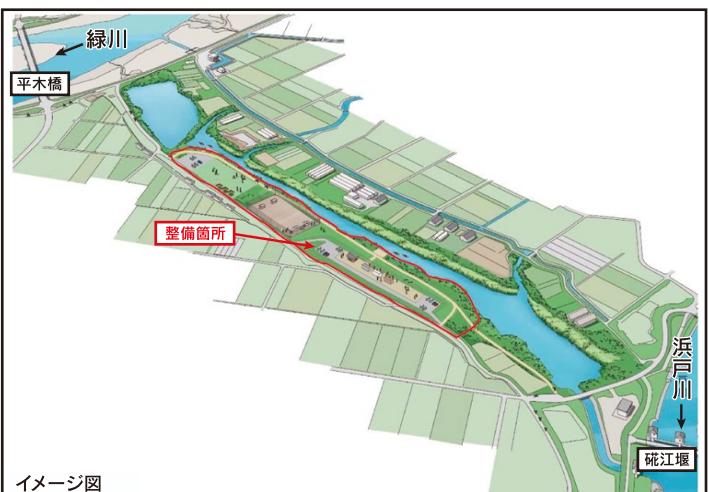
熊本市街部かわまちづくり(白川)

熊本市が進めている安全で快適な自転車等走行空間整備の取り組みに併せて、河川管理用通路等を整備します。事業期間 2021–2025年



宇土走瀬地区かわまちづくり(緑川)

宇土市と協力し緑川旧河道部を活用し、利用者の安全安心を向上させる事業をすすめていきます。事業期間 2022–2025年



河川管理について

河川管理

日常の管理

～堤防や護岸、樋管等の河川管理施設がその機能を十分に発揮できるよう、日頃から点検等を行っています～

●河川巡視



堤防や護岸、樋管等の河川管理施設の異常の発見、河川敷におけるゴミなどの不法投棄、不法占拠などの違法行為を発見するため、河川のパトロールを行っています。

●水質事故への対応



河川に油等が流出した際には、白川・緑川水質保全協議会において、関係機関が連携して情報連絡体制をとり、水質汚濁防止のための対策をとっています。

●堤防管理



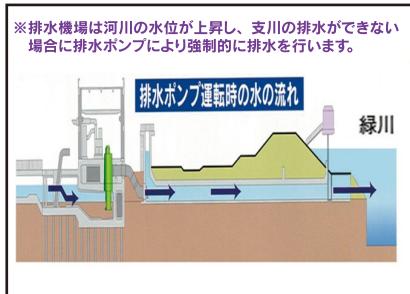
堤防の状態を把握するため、出水期前後（年に2回）に除草を行っています。その際に発生する刈草は、リサイクルに努めています。



堤防除草後には、徒歩による細かな堤防点検を行っています。また、河川構造物（樋門・樋管ほか）についても点検を行い、機能の健全性について確認を行っています。

災害時の管理

～河川管理施設の操作や監視等に努め、災害による被害を最小限にするように努めています～



洪水のおそれがある場合は内水被害対策のための排水機場を稼働させるとともに、水防活動に対する情報収集支援や排水ポンプ車の派遣などを行い、洪水による被害を最小限に防ぎます。

河川管理の課題

外来水草対策



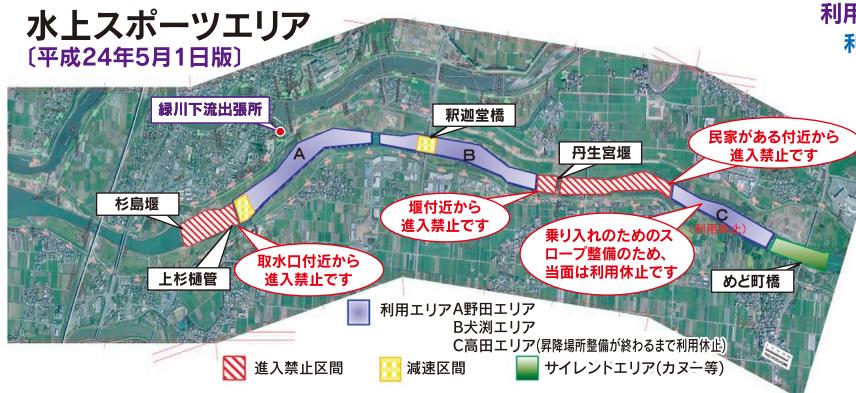
加勢川を中心としてボタンウキクサなどの外来水草が夏場に河川の水面を覆うほどに増殖しており、水門等の施設の操作に悪影響を及ぼす外、流出して河口域や海域環境に影響を及ぼします。また、冬季に腐敗し、水質汚濁や悪臭が発生するなど、河川環境にも影響を及ぼします。これら外来生物対策として、沿川自治体で構成される緑川水系水草対策連絡協議会において、情報交換や水草駆除などを連携して実施しています。



除去された水草 協議会による外来水草共同除去作業

水面利用のルール

水上スポーツエリア [平成24年5月1日版]



利用時間帯

利用可能時間

4月20日～9月末 9:00から18:00まで ※夏時間

(利用受付は17:00まで)

10月1日～2月末 9:00から17:00まで ※冬時間

(利用受付は16:00まで)

(準備8:30～、エンジン稼働9:00～、終了時間は片付けも含む)

バス釣りは、5:00からの早朝利用ができます。

ただし、6:00から8:59は、エレキ及び手こぎでの利用

(準備5:30～、利用6:00～、エンジン稼働9:00～、終了時間は片付けも含む)

利用禁止期間

3月1日～4月19日(鮎の遡上期のための配慮期間)



緑川では水上のレジャーが盛んになるにつれ、漁業者や地域住民との間で、騒音やゴミ等の問題で軋轢が生じるようになりました。そこで、水面の利用が適正に行われるよう、緑川中流部水面等利用協議会(漁業者、水上レジャー利用者、利水者、行政等)を組織し、水面利用を進めています。

放置艇対策

緑川河口域では、無許可係留船や沈没船等、およそ180隻以上が放置艇となっています。放置艇は、流水の阻害、河道閉塞、水門等の施設の操作に支障がある外、廃船の流下による漁業被害をおこす恐れがあり、緑川水系下流部放置艇対策連絡会議を組織して、対策を行っています。



不法投棄対策

白川や緑川には、いたるところにゴミが捨てられており、環境にも多大な影響を与えています。美しい白川と緑川を取り戻すために、不法投棄をしない・させないように協力していきましょう。



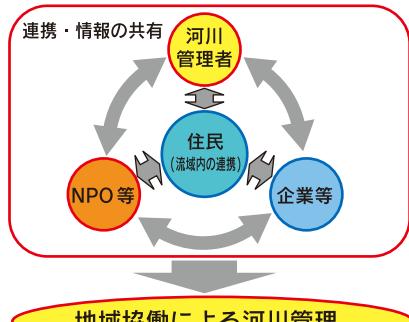
白川での不法投棄状況



緑川での不法投棄状況

流域連携・地域連携

これからの河川管理は、地域協働による河川管理を目指していきます。より良い河川管理に向けて、住民・企業・NPO等や河川管理者等のそれぞれの特性を活かし、主体性と信頼関係を基に連携して取り組むことが重要です。地域協働による河川管理は、関係者が様々なレベルで情報を共有し、コミュニケーションを活発にしながら取り組んでいきます。計画策定から整備・維持管理までの一連のプロセスを通じ、様々な段階で住民の皆様が係われる仕組み作りを行うなど、住民の皆様が参加できる機会を増やします。



これからの河川管理のイメージ図

河川協力団体制度

■河川協力団体制度の目的

河川管理において、河川管理者と連携して活動するNPO等の団体を河川協力団体として指定し、自発的な活動を支援し促進させ、河川管理のパートナーとして活動していくことにより、地域の実情に応じた多岐にわたる河川管理の充実を図るもので



■河川協力団体の指定状況

現在、緑川水系4団体、白川水系1団体が、河川協力団体の指定を受けて活動しています。



■活動事例

緑川水系加勢川では、近年、外来水草が異常繁茂して生態系への影響が心配されるため、河川協力団体と河川管理者が連携して外来水草の除去活動を進めています。外来水草の除去活動を通じて、生態系を守ることの大切さを伝える活動にも取り組まれており、又、白川では、カヌーを用いて、川の中の不法投棄物や流木、土砂の堆積状況を確認し、安全確認を行っています。これらの活動は、地域住民やボランティア団体との交流、次世代を担う子供たちへの環境教育などにつながっています。

流域一斉清掃

白川・緑川では地元住民や市民団体等が中心となり、流域一斉清掃に取り組んでいます。



H31.4.29 「緑川の日」一斉清掃
約2万人が参加



R1.8.4 「しらかわの日」一斉清掃
約1,600人が参加



R1.8.4 「しらかわの日」一斉清掃
集められたゴミの一部

出前講座・住民参加型学習会

熊本河川国道事務所では、防災や河川環境学習について出前講座を随時受け付けています。また、月に1回程度、一般市民を対象に「過去の水害の歴史」「水生生物調査」等の学習会を行っています。



出前講座 (環境学習)



出前講座 (水生生物調査)



住民参加型学習会 (防災)



熊本の道路

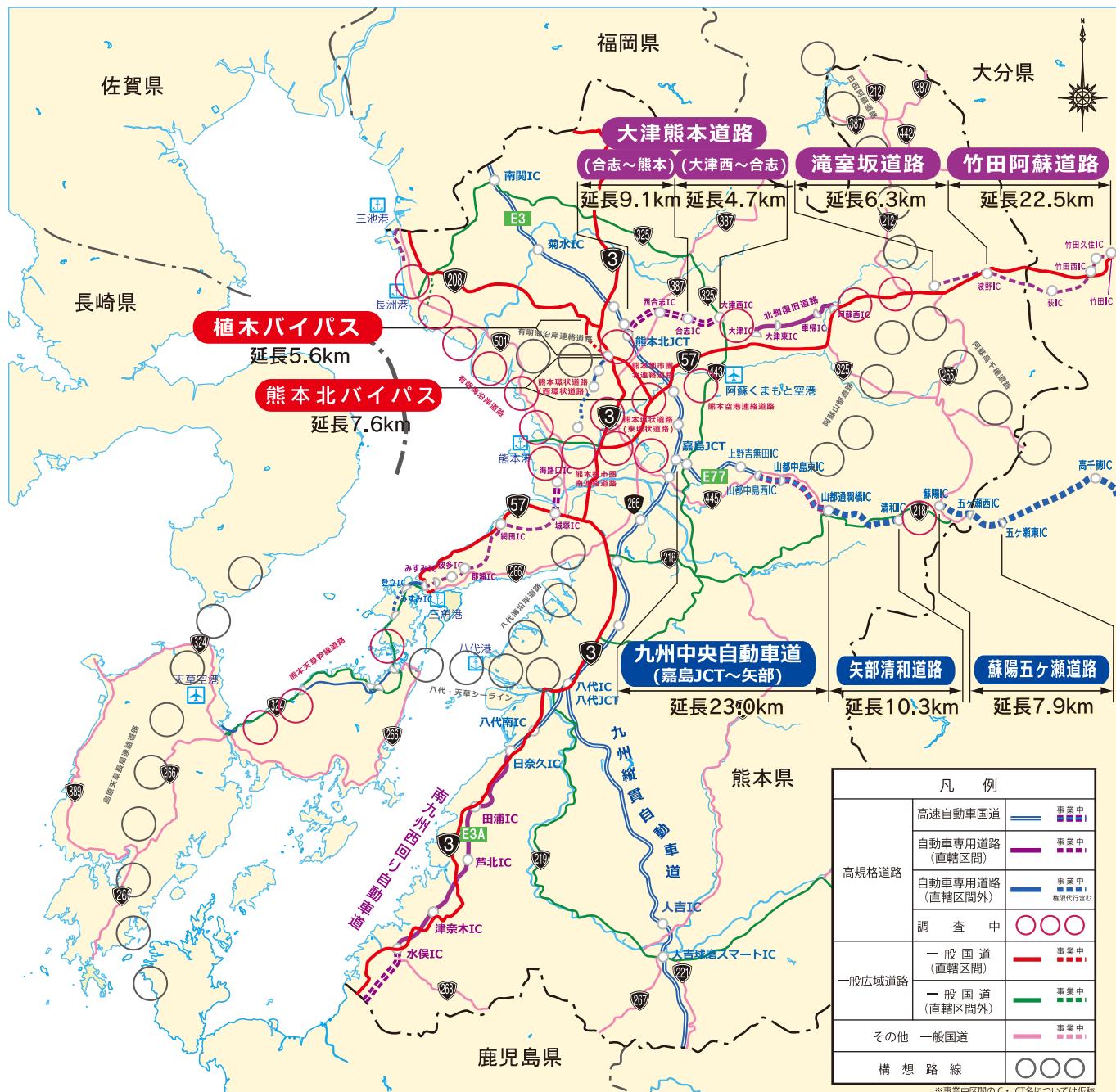
熊本河川国道事務所では、国道3号、57号、208号のほか、E77九州中央自動車道の約303.0kmを4つ維持出張所で分担して管理しています。

また、改築事業として地図のとおりの箇所で事業を推進中です。

■管理延長

(単位 : km)

維持出張所 路線名	山鹿	熊本	八代	阿蘇国道	路線別計	通過市町村名
3号	46.2	20.9	84.3		151.4	山鹿市・熊本市・合志市・宇土市・宇城市・氷川町・八代市・芦北町・津奈木町・水俣市
57号 (北側復旧道路)		43.9		63.6 (11.9)	107.5	産山村・阿蘇市・南阿蘇村・大津町・菊陽町・熊本市・宇土市・宇城市
208号	32.7				32.7	熊本市・玉東町・玉名市・荒尾市
E77九州中央道		11.4			11.4	益城町・御船町・山都町
各出張所計	78.9	76.2	84.3	63.6	303.0	



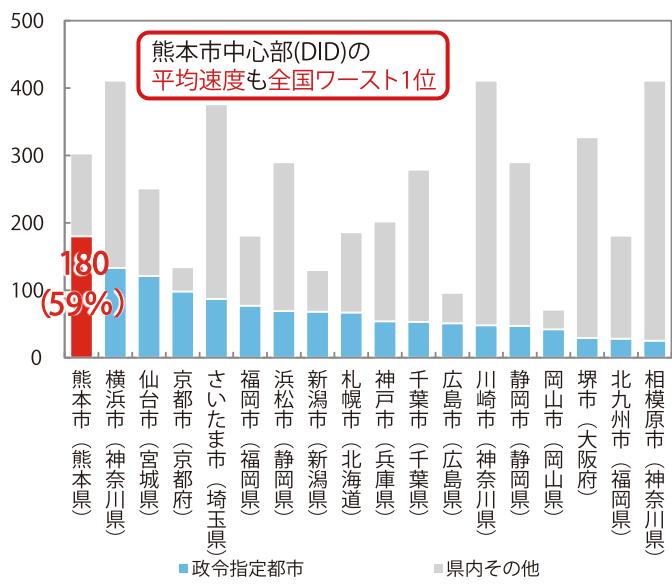


熊本都市圏の交通の特徴

主要渋滞箇所、全国ワースト1位



全国政令指定都市の主要渋滞箇所数（箇所）

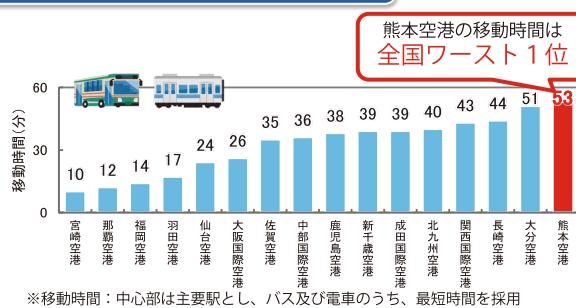


※ 3大都市圏に該当する政令指定都市（東京、大阪、名古屋）は除いて集計
資料：全国道路・街路交通情勢調査（H27）

熊本都市圏の交通課題

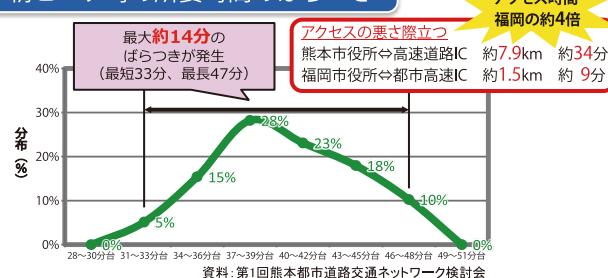


旅客数トップ10位 及び 九州主要空港の空港～中心部の移動時間*



*移動時間：中心部は主要駅とし、バス及び電車のうち、最短時間を採用
資料：第1回熊本都市圏道路交通ネットワーク検討会

熊本IC→熊本駅 朝ピーク時の所要時間のばらつき



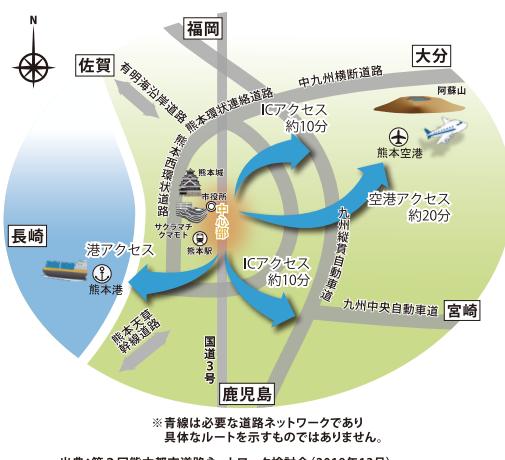
資料：第1回熊本都市圏道路交通ネットワーク検討会



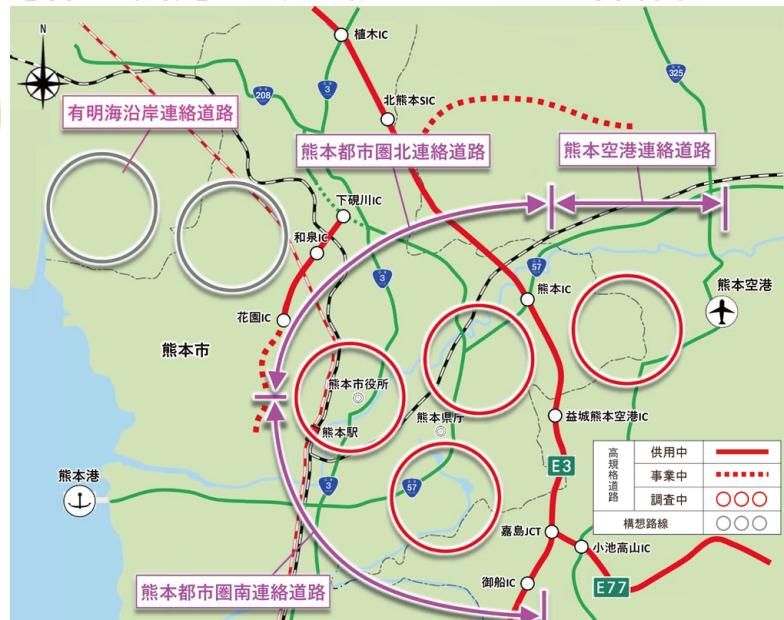
熊本都市圏における円滑な交通ネットワークの形成

国内外の交流強化や地域経済の活性化、さらに日常移動の利便性向上のため定時性・速達性を確保する交通ネットワークの調査・計画を進めていきます。

熊本都市圏の新たな道路ネットワークのイメージ



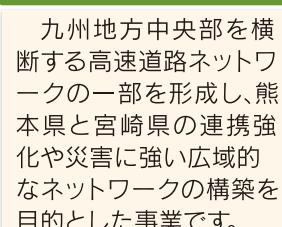
【新規路線】広域道路ネットワーク計画図*



事業中の改築箇所

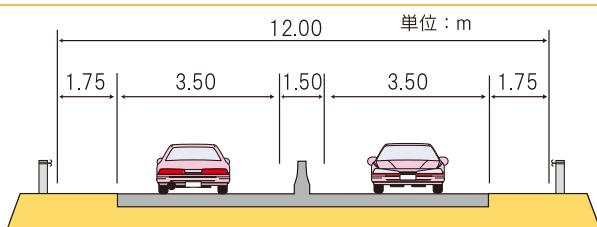
E77 九州中央自動車道（嘉島JCT～矢部）

A map of the Kyushu Central Expressway in Japan. A red box highlights the section from Nagashima JCT to Yabu. Key locations labeled include Ōita Prefecture (大分県), Miyazaki Prefecture (宮崎県), and Kumamoto Prefecture (熊本県). Cities like Ōita City (大分市), Miyazaki City (宮崎市), and Yabu (矢部) are also marked. Major junctions shown are Nagashima JCT (嘉島JCT) and Hachijo JCT (八代JCT).



計画諸元

事業化年度	平成 10 年度（施行命令）
計画延長	23km
構造規格	第 1 種第 3 級（自動車専用道路）
設計速度	80km/h
車線数	暫定 2 車線



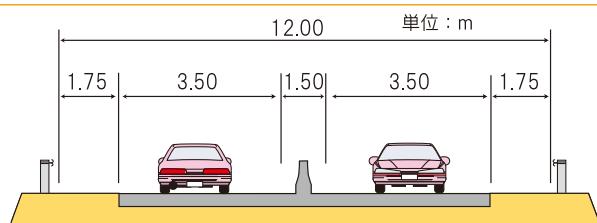
 九 州 中 央 自 動 車 道 矢 部 清 和 道 路

九州地方中央部を横断する高速道路ネットワークの一部を形成し、熊本県と宮崎県の連携強化や災害に強い広域的なネットワークの構築を目的とした事業です。



計画諸元

事業化年度	令和4年度
計画延長	10.3km
構造規格	第1種第3級（自動車専用道路）
設計速度	80km/h
車線数	2車線





九州中央自動車道 蘇陽五ヶ瀬道路

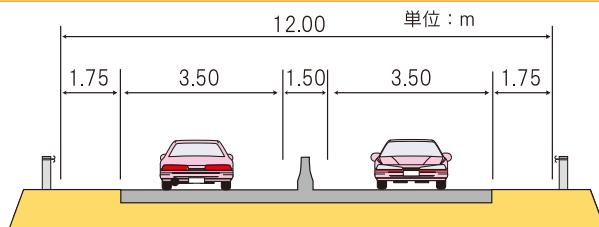


九州地方中央部を横断する高速道路ネットワークの一部を形成し、熊本県と宮崎県の連携強化や災害に強い広域的なネットワークの構築を目的とした事業です。



計画諸元

事業化年度	令和2年度
計画延長	7.9km
構造規格	第1種第3級（自動車専用道路）
設計速度	80km/h
車線数	2車線



中九州横断道路 竹田阿蘇道路

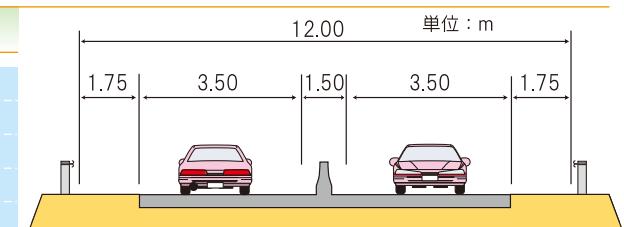


高規格道路中九州横断道路の一部を構成し、沿線地域の産業発展や地域活性化に寄与するとともに、災害に強いネットワークの構築を目的とする道路です。



計画諸元

事業化年度	平成31年度
計画延長	22.5km
構造規格	第1種第3級（自動車専用道路）
設計速度	80km/h
車線数	2車線



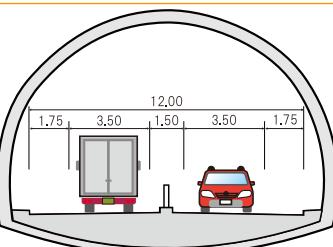
高規格道路中九州横断道路の一部を形成し、災害発生時の代替路確保、走行性の向上等を目的とした事業です。



計画諸元

事業化年度	平成 25 年度
計画延長	6.3km
構造規格	第 1 種第 3 級（自動車専用道路）
設計速度	80km/h
車線数	2 車線

トンネル区間

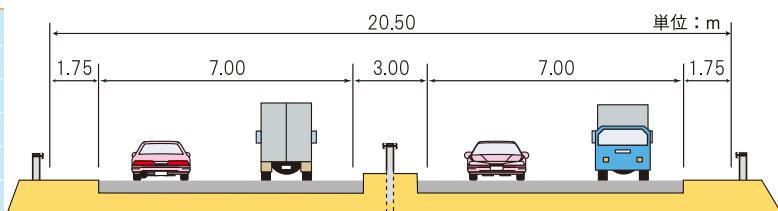


高規格道路中九州横断道路の一部を形成し、沿線地域の産業発展や活性化に寄与するとともに、災害に強いネットワークの構築を目的とする道路です。



計画諸元

事業区間	(合志～熊本)	(大津西～合志)
事業化年度	令和2年度	令和4年度
計画延長	9.1km	4.7km
構造規格	第1種第3級(自動車専用道路)	
設計速度	80km/h	
車線数	4車線	





植木バイパス

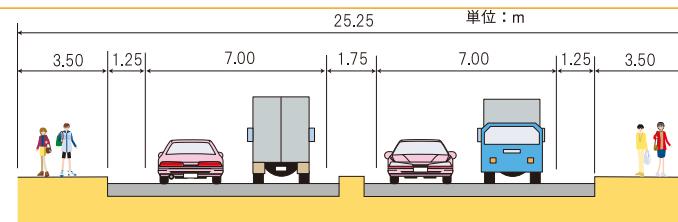


熊本都市圏の放射道路網の一部となり、熊本市の交通混雑の緩和及び交通安全性の向上等を目的とした事業です。



計画諸元

事業化年度	平成 11 年度
計画延長	5.6km
構造規格	第3種第1級
設計速度	80km/h
車線数	4車線



熊本北バイパス（令和4年度全線開通）

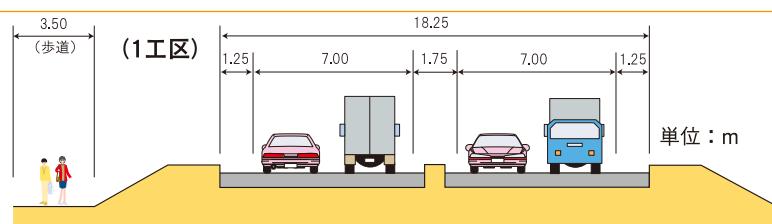


熊本都市圏内の環状道路網の一部となり、熊本市及び沿線地域の交通混雑の緩和や交流・連携機能の確保等を目的とした事業です。



計画諸元

事業化年度	昭和 48 年度
計画延長	7.6km
構造規格	第3種第1級
設計速度	80km/h
車線数	4車線



安心・安全の確保

① 老朽化対策

河川について

道路について

共通概要

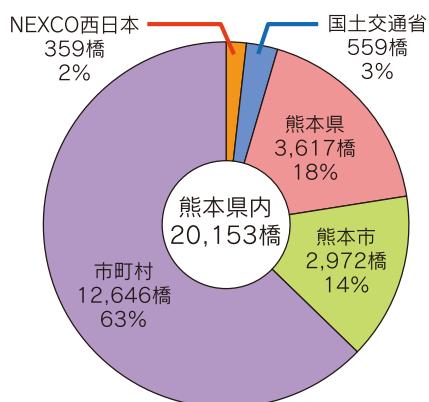
○熊本県内の道路インフラは高度経済成長期から集中的に整備されており、今後急速に老朽化していくことが予測され、老朽化した道路インフラの補修や更新を確実に実施していくことが重要な課題となっています。

○道路インフラの維持管理、補修、更新等を効果的・効率的に行うため、熊本県内の道路管理者からなる「熊本県道路メンテナンス会議」を設置し、道路インフラの予防保全、老朽化対策の強化を図っています。

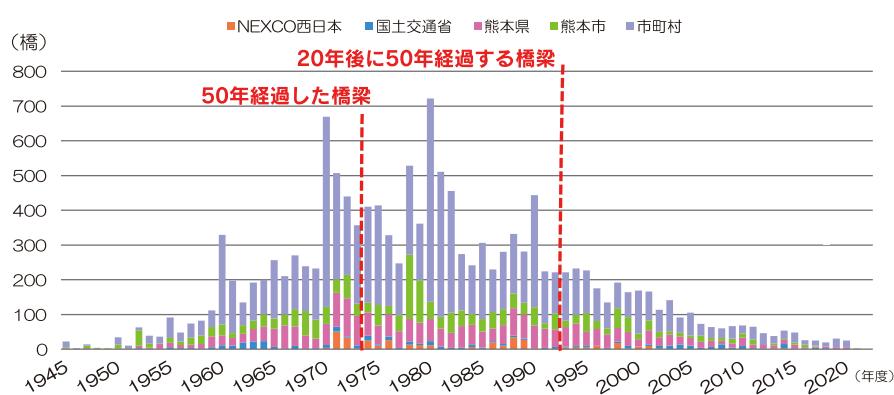
熊本県内の橋梁の現状・課題

○熊本県内の約2万橋の橋梁（2m以上）のうち、6割以上となる約1.3万橋を市町村が管理しています。建設後50年を経過した橋梁の割合は、現在は32%ですが、20年後には81%に増加することが予測されています。

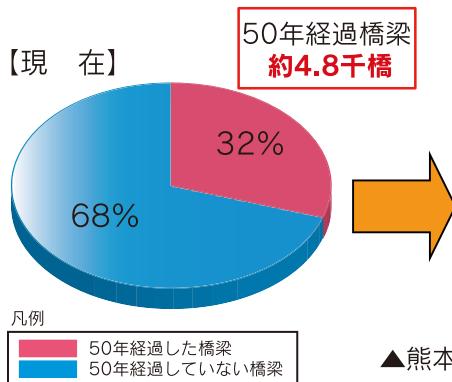
○市町村は、管理する施設数が多いにもかかわらず三つの課題（人不足・技術力不足・予算不足）により、点検が進まない、点検結果の妥当性が確認できない、適切な修繕等が実施できない等の課題があります。



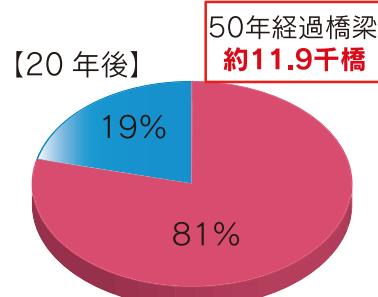
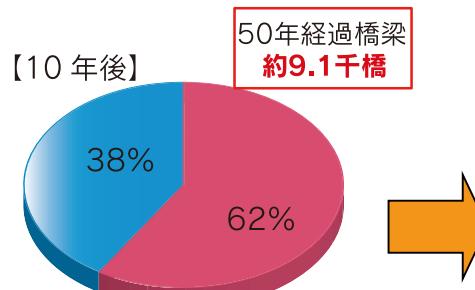
▲熊本県内の道路管理者別の橋梁数（令和4年3月時点）



▲熊本県内の建設年度別の橋梁数（令和4年3月時点）



▲熊本県内の建設後50年を超える橋梁の割合（令和4年3月時点）



老朽化対策が必要な構造物の例



疲労による
コンクリート床版のひび割れ



凍結防止剤を含む漏水による
支承の劣化(塩害)



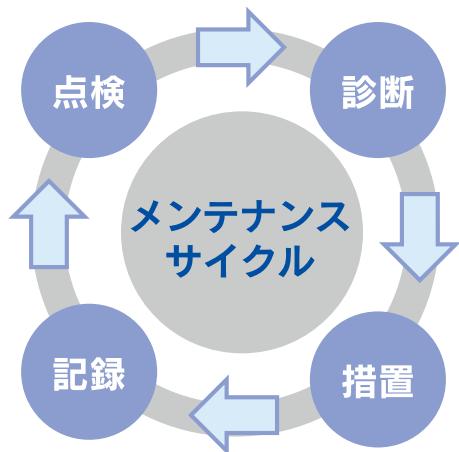
鋼材の腐食に伴う強度の低下

(データは令和4年3月時点のものです)

老朽化対策の具体的な取組

メンテナンスサイクルを確定（道路管理者の義務の明確化）

- 道路インフラの老朽化対策の本格実施に向け、道路管理者の義務である点検・診断・措置・記録の取組を明確化し、各道路管理者の責任でメンテナンスサイクルを実施します。
- 橋梁やトンネル等の構造物について、近接目視により最長5年に1回の頻度で点検することを省令に位置付けるとともに、構造物を統一的な尺度で判定できるよう健全度の判定区分を告示し、これらに基づく定期点検要領を全道路管理者に通知しました。



トンネル等の健全性の診断結果の分類に関する告示

(平成26年3月31日公布、7月1日施行)

区分		状態
I	健全	構造物の機能に支障が生じていない状態
II	予防保全段階	構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態
III	早期措置段階	構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態
IV	緊急措置段階	構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態

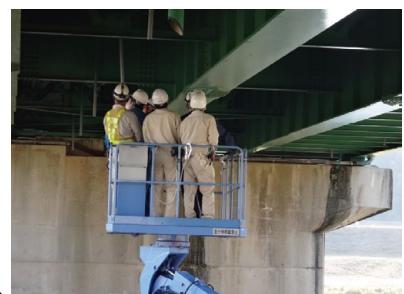
※Ⅲ・Ⅳ区分は点検後5年以内(次回点検まで)に対応する

メンテナンスサイクルを回すための自治体支援

- メンテナンスサイクルを持続的に回すため、熊本県内の道路管理者からなる「熊本県道路メンテナンス会議（平成26年5月設置）」を設置しています。
- メンテナンス会議では、県内の道路インフラの課題を継続的に把握・共有するとともに、効果的・効率的に老朽化対策を推進するため、県内の全道路施設の点検計画を策定し、計画的に取り組んでいます。
- 構造物の技術的な知見を有する専門家を招いた現地視察会や点検現場研修会の開催など、地方公共団体職員の技術力の向上に向けた支援を実施しています。



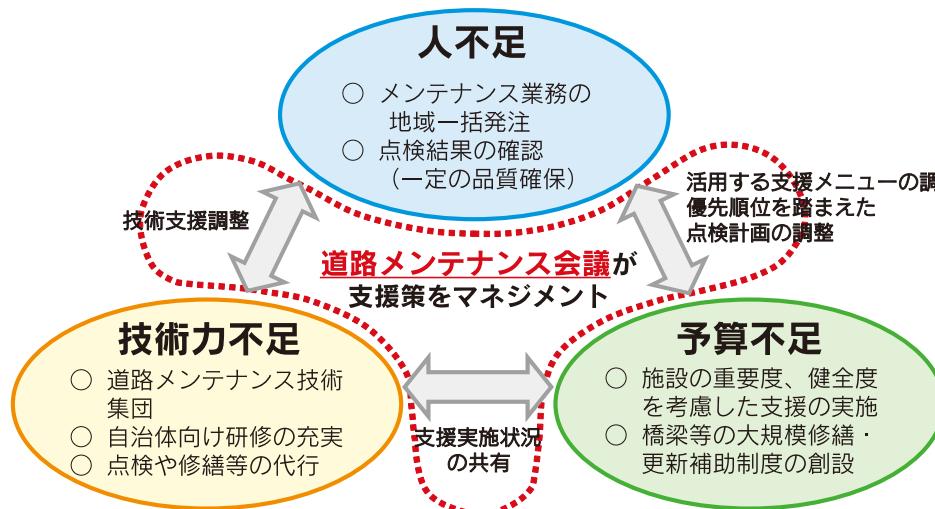
定期点検実務講習会の開催



自治体が管理する橋梁の点検



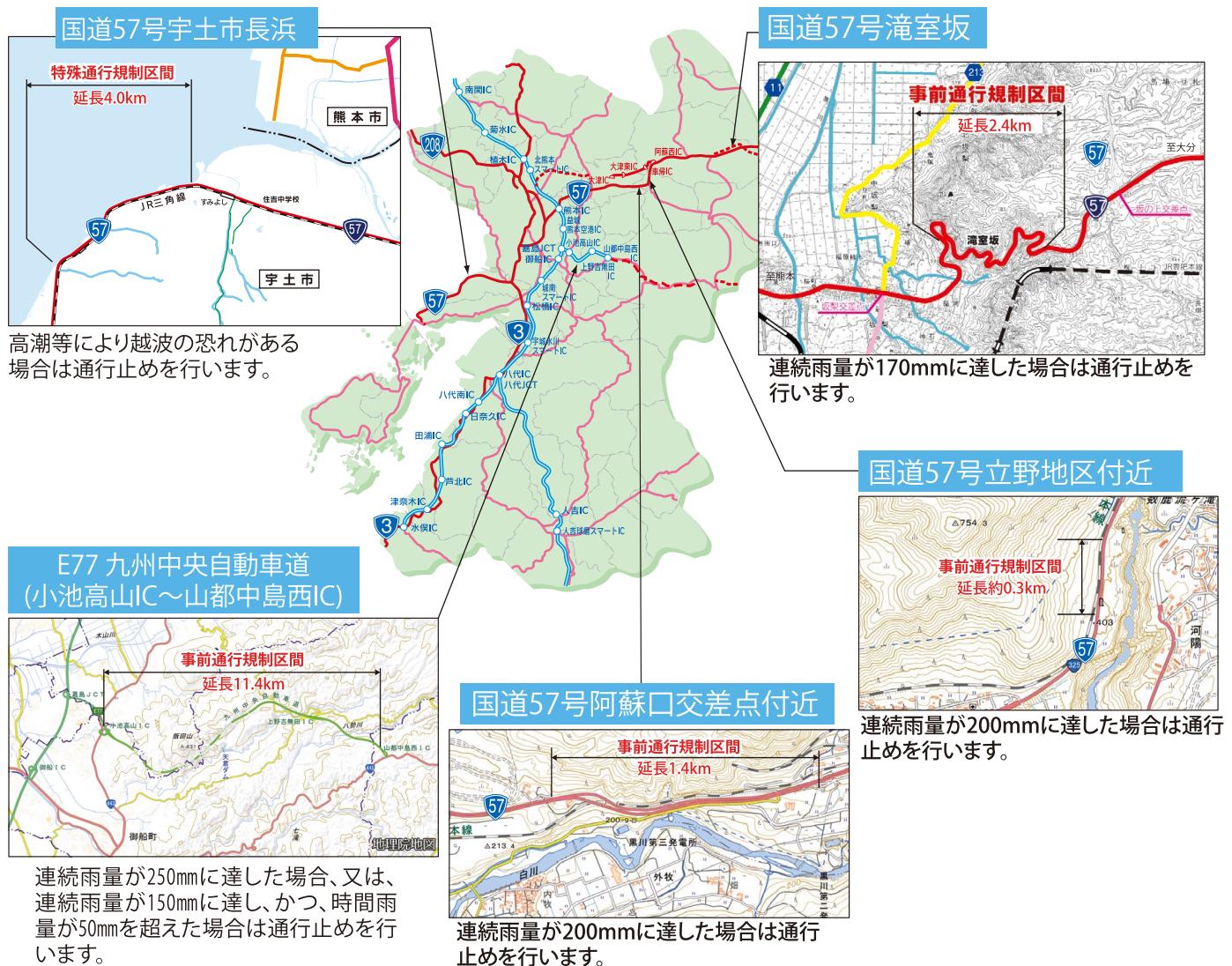
点検支援技術の講習会



▲メンテナンスサイクルを回す仕組み

異常気象時の通行規制

○台風・豪雨等の異常気象により、危険が予測される場合に通行規制を実施します。



《参考》災害対策基本法の一部を改正する法律が平成26年11月21日に施行され、道路管理者による放置車両対策が強化されました。

概要① 緊急車両の通行ルート確保のための放置車両対策

- * 道路管理者は区間を指定
- * 緊急車両の妨げとなる車両の運転手等に対して移動を命令
- * 運転手の不在時等は、道路管理者が自ら車両を移動

概要② 土地の一時使用等

- * ①の措置のためやむをえない必要がある時、道路管理者が、他人の土地の一時使用、竹木その他の障害物の処分が可能

概要③ 関係機関、道路管理者間の連携・調整

- * 都道府県公安委員会は、道路管理者に対し、①の措置の要請が可能
- * 国土交通大臣は、地方公共団体に対し、①の措置について指示が可能
(都道府県知事は、市町村に対し指示が可能)



③ 交差点改良・歩道(通学路)の整備

○交差点の事故防止や歩行者が安心・安全に歩ける歩行空間を目指し、合計13箇所において、交差点改良及び歩道(通学路)の整備を進めます。

実施中の事業箇所

河川について

道路について

共通概要

国道57号 流通団地入口交差点改良

流通団地入口交差点を整備します。

所在地	熊本県熊本市南区御幸西
事業延長	500m
事業化年度	2019(H31)
事業内容	交差点の整備



国道208号 金山歩道整備

玉名市内の高校への通学時の安全を確保するため自歩道を整備します。

所在地	玉名市岱明町～荒尾市金山
事業延長	440m
事業化年度	2016(H28)



国道208号 木葉歩道整備

木葉小学校の通学路の整備を行います。

所在地	玉名郡玉東町木葉
事業延長	300m
事業化年度	2017(H29)
事業内容	歩道整備



国道3号飛田自転車道・歩道整備

川上小学校、北部中学校への通学時の安全を確保するため自歩道を整備します。

所在地	熊本市北区飛田
事業延長	850m
事業化年度	2014(H26)
事業内容	自転車歩行者道の整備



国道57号 三角浦歩道整備

三角小学校、三角中学校の通学路の整備を行います。

所在地	宇城市三角町三角浦
事業延長	1,200m
事業化年度	2012(H24)
事業内容	自転車歩行者道の整備



国道3号 日奈久塩南自歩道整備

近隣の駅や店舗等を利用するための自歩道を整備します。

所在地	八代市日奈久塩南町
事業延長	360m
事業化年度	2013(H25)

事業内容 自転車歩行者道の整備



国道3号 岩城歩道整備

近隣の駅や店舗等を利用するための歩道を整備します。

所在地	葦北郡津奈木町岩城
事業延長	260m
事業化年度	2015(H27)



国道3号 川田町東歩道整備

龍峯小学校の通学時の安全を確保するため自歩道を整備します。

所在地	八代市川田町東
事業延長	1,100m
事業化年度	2018(H30)



国道3号 岡町谷川歩道整備

龍峯小学校の通学路の安全を確保するため歩道を整備します。

所在地	八代市岡町
事業延長	400m
事業化年度	2023(R5)



国道57号 大津自歩道整備

大津小学校、大津中学校の通学路の整備を行います。

所在地	菊池郡大津町大津
事業延長	560m
事業化年度	2013(H25)



国道3号 竹崎歩道整備

豊福小学校の通学路の整備を行います。

所在地	宇城市松橋町竹崎
事業延長	340m
事業化年度	2016(H28)



国道57号 記麻跨道橋際交差点改良

託麻北小学校の通学路の整備を行います。

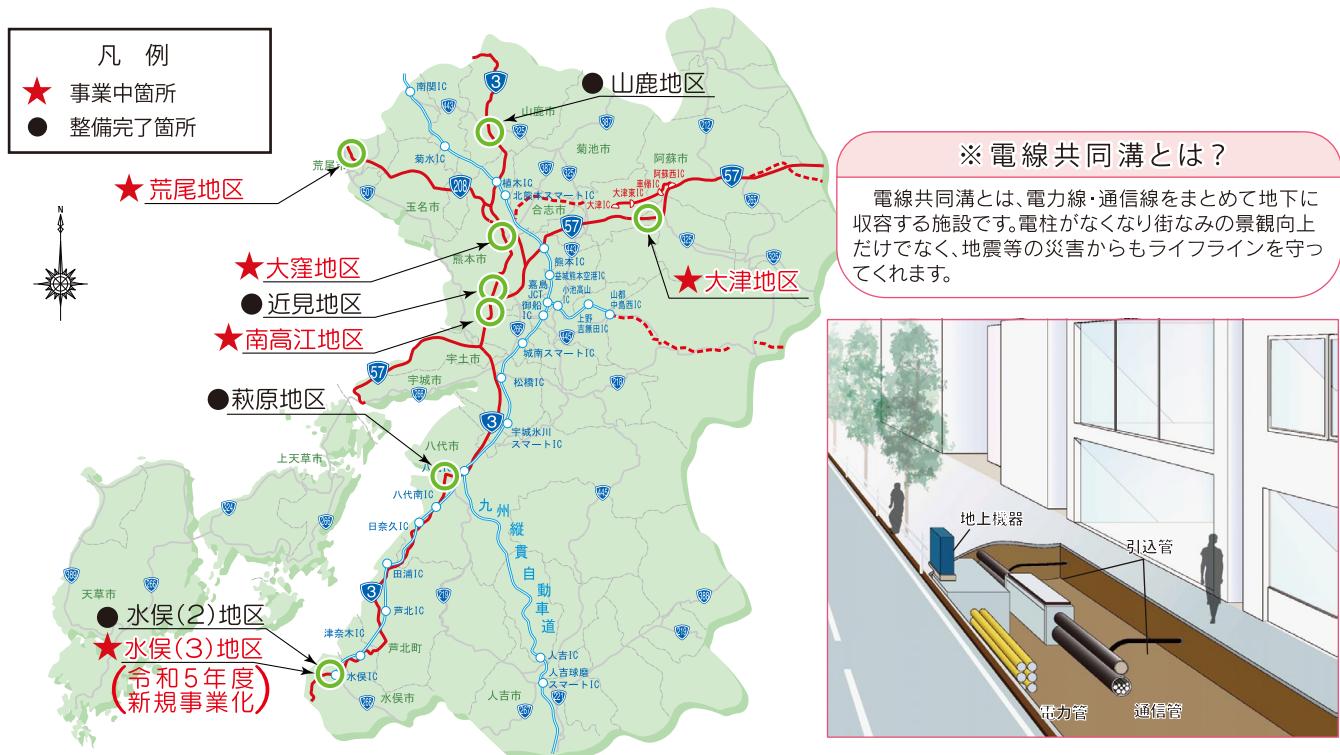
所在地	熊本市東区神園
事業延長	40m
事業化年度	2017(H29)



④ 無電柱化(電線共同溝)

○安全で快適な空間の確保や都市景観の向上、都市災害の防止、情報通信ネットワークの信頼性向上を図るため、電線類を地中化する電線共同溝事業を進めています。

電線共同溝事業箇所



整備事例: 国道3号(八代市萩原)



電線共同溝の整備効果



■台風や地震などの災害時に電柱倒壊といった危険がなくなります。倒壊した電柱に道をふさがれることもないため、速やかな非難や緊急車両のスムーズな通行など、都市防災に大きく貢献します。

■電柱が無くなることにより歩道が広く使え、ベビーカーや車いすの人にも利用しやすくなり、安心・安全な歩行空間が確保されます。

■地上の電柱・電線類の地中化により、すっきりとした道路空間となり、美しい街並みが形成されます。

地域との交流

河川について

道路について

共通概要

「道の駅」のとりくみ

「道の駅」の目的

- ・道路利用者への安全で快適な道路交通環境の提供
- ・地域の振興に寄与

「道の駅」の機能

休憩機能

- ・24時間、無料で利用できる駐車場・トイレ

情報発信機能

- ・道路情報、地域の観光情報、緊急医療情報などを提供

地域連携機能

- ・文化教養施設、観光レクリエーション施設などの地域振興施設

「道の駅」の基本コンセプト



国土交通省では、2020年から2025年までを「道の駅」第3ステージと位置付け、「道の駅」の基本コンセプトである3つの機能に加え、「地域創生・観光を加速する拠点へ」進化するため、「道の駅」を核にした地方創生」及び「道の駅」の持続可能な安定経営」目指した取組を推進していきます。

■第3ステージの政策テーマに沿った個別施策の開始・推進 ※各施策を推進する国の重点支援や全国連絡会の取組も推進

【ニューノーマル対応】



▲トイレの洋式化



▲非接触化

【防災機能強化】



▲自衛隊の活動拠点として使用

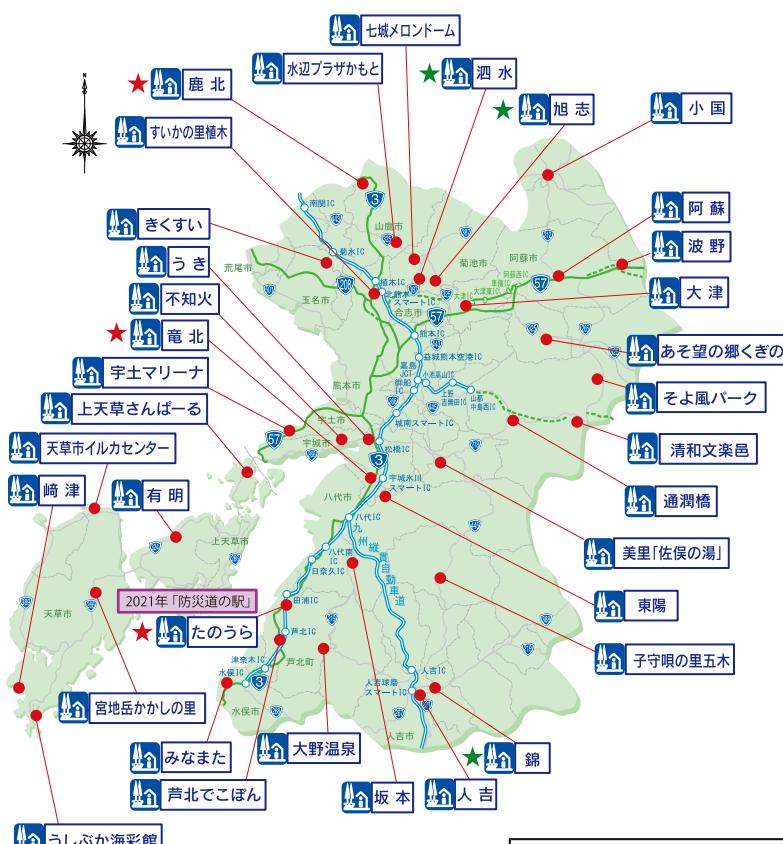
【地域センター化】



▲子育て応援施設(ベビーコーナー等)の整備

熊本の「道の駅」

■熊本県内35箇所



令和5年4月1日現在

■防災機能強化

災害における救援活動を支える一時避難所や活動拠点として、防災機能の強化に取り組んでいます。



《防災倉庫》

災害時の救援物資・復旧資材等を保管。



《受水槽》

災害時のトイレ洗浄水、手洗い水を確保。



《非常用発電機》

災害時の照明(トイレ・情報室)等の電力確保。



《防災トイレ》

平時は駐車場として使用し、災害時に汲み取り式簡易トイレを組立てる。

▲道の駅「たのうら」の整備状況

■防災拠点自動車駐車場

災害において、広域的な災害応急対策の拠点となる防災機能を有する「道の駅」等(※)について、防災拠点自動車駐車場として指定。

(※)防災拠点自動車駐車場道の駅(熊本県内)

鹿北	波野	旭志
うき	阿蘇	泗水
竜北	大津	
たのうら	宇土マリーナ	

凡例
★防災機能強化整備済(直轄整備)
▲防災機能強化整備済(熊本県整備)

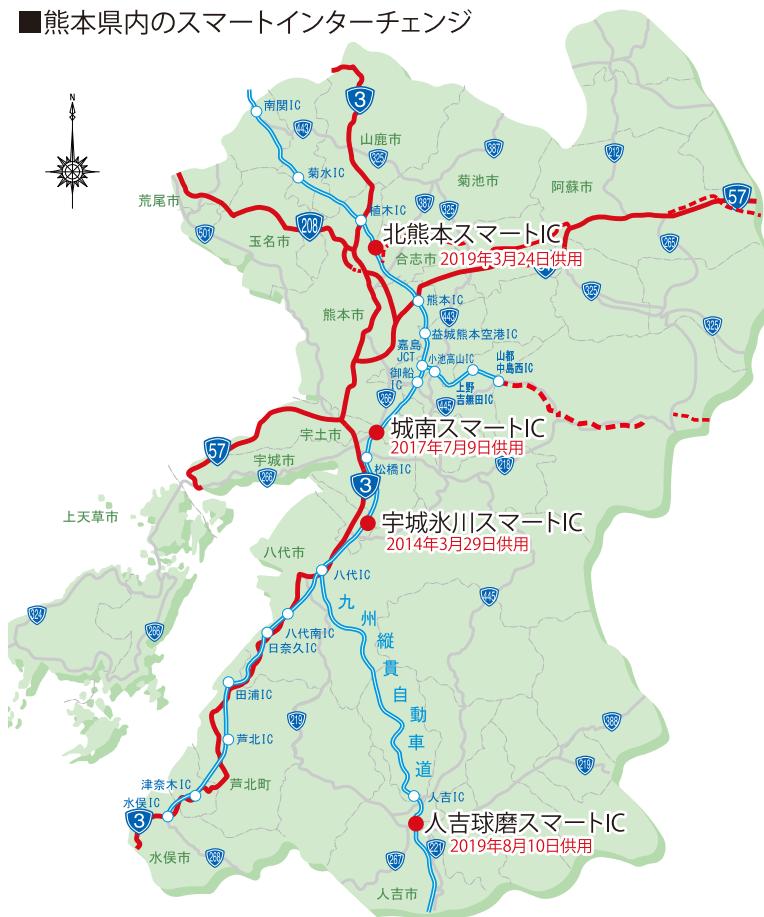


利用の禁止・制限の際に設置する標識

スマートインターチェンジ

- スマートICとは、高速道路のSA・PAのほか、高速道路本線から乗り降りが可能なETC通行車専用のICです。高速道路へのアクセス性を高め、地域と一体となった拠点の形成を支援しています。
- 熊本県内では、現在4箇所で供用しています。

■熊本県内のスマートインターチェンジ



▲北熊本スマートIC



▲人吉球磨スマートIC

日本風景街道

- 道を舞台に、多様な主体による協働のもと、景観、自然、歴史、文化等の地域資源を活かし、美しい国土景観の形成、地域活性化や観光振興を図る取り組みです。



あまくさ風景街道

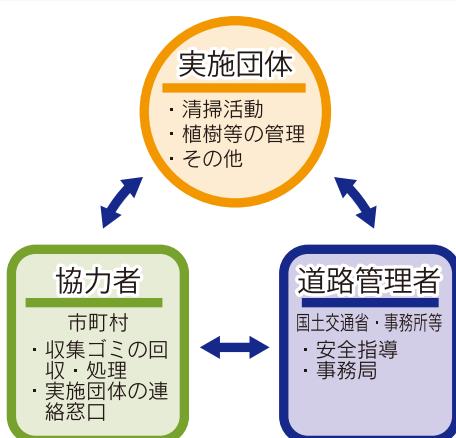


阿蘇くまもと路



ボランティア・サポート・プログラム (V・S・P)

- 地域や企業の皆さんに道路の美化清掃等の実施団体になっていただき、地元自治体、道路管理者とともに快適な道づくりを進めます。



【問合せ先】

事務局：096-382-1111（道路管理第一課）





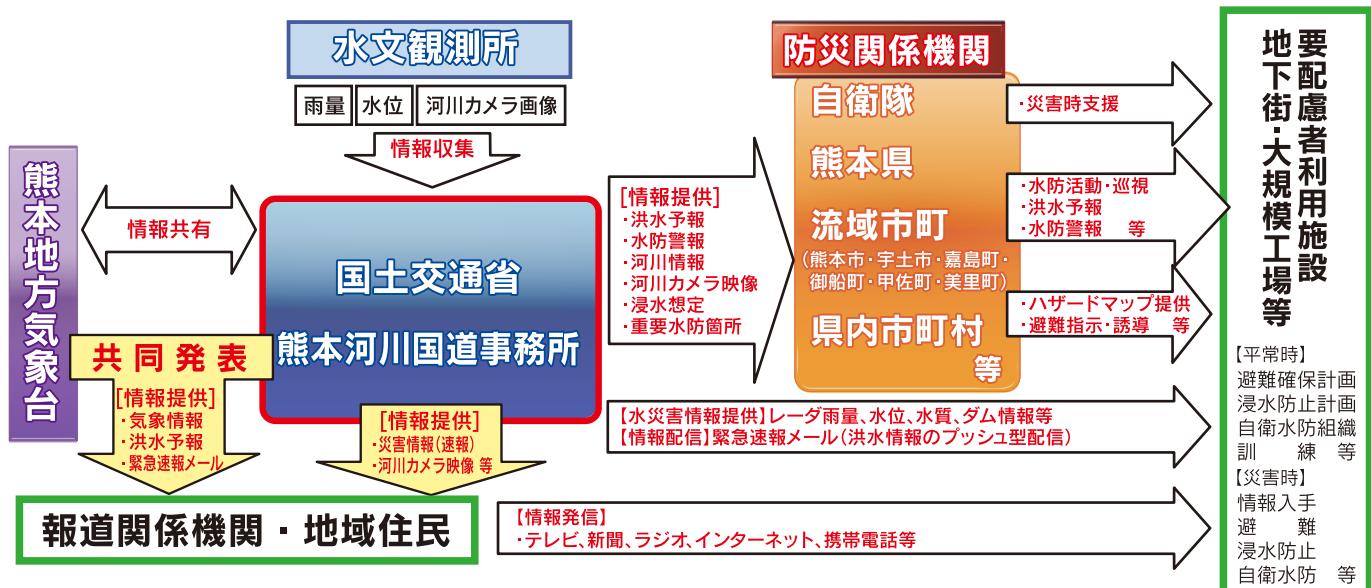
地域(地方自治体等)への支援

防災支援

熊本河川国道事務所
窓口：流域治水課長

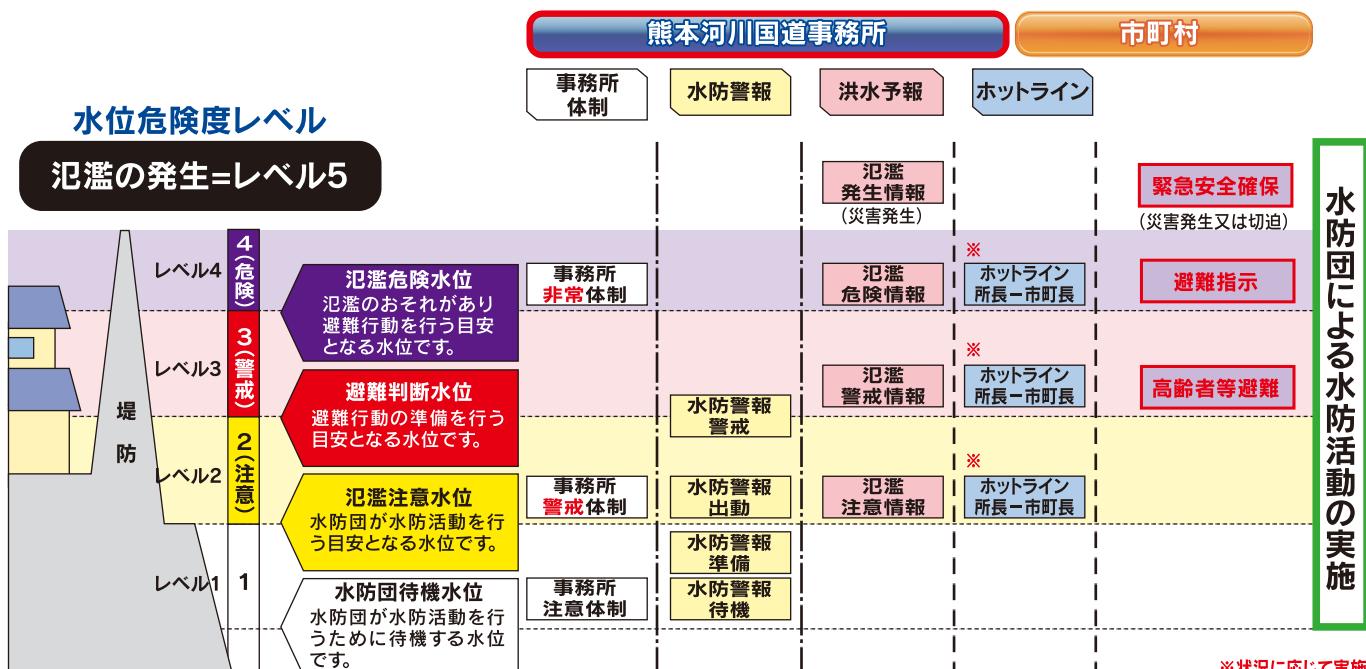
[電話番号]
096-382-1111(内線351)

洪水予報等の情報の流れ



水防時の防災情報発令について

水位危険度レベルに応じた各機関の主な行動



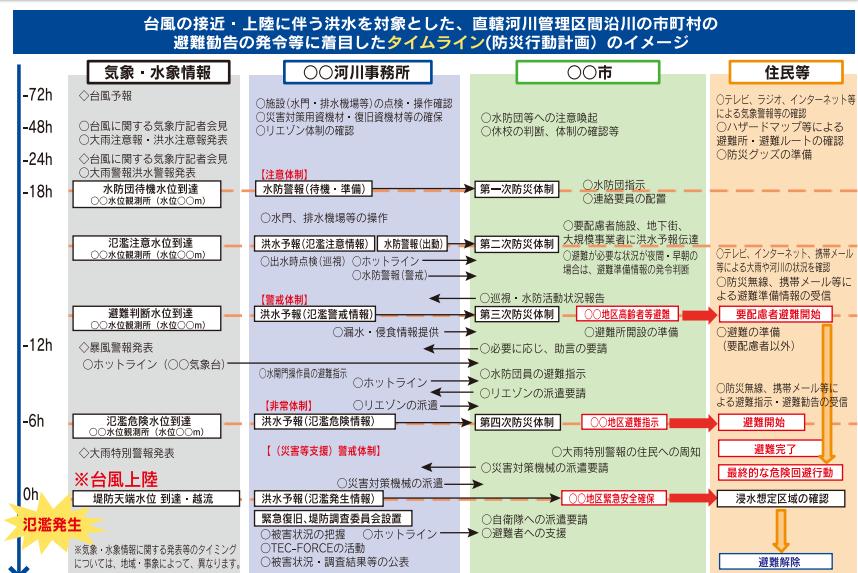
白川・緑川水系 基準水位観測所諸元

(単位:m)

河川名	観測所名	零点高	水防回待機水位	氾濫注意水位	避難判断水位	氾濫危険水位	計画高水位	関係市町
白川	よつぎばし 代継橋	7.656	2.50	3.70	4.70	5.00	6.680	熊本市
緑川	ちゅうこうばし 中甲橋	32.480	2.00	3.00	4.10	4.60	5.913	熊本市 御船町 甲佐町 美里町
	じょうなん 城南 (苦町橋)	3.305	3.30	4.30	5.80	6.20	7.350	熊本市 宇土市 宇嘉島町 御船町 甲佐町
加勢川	だいろくばし 大六橋	2.119	2.50	3.20	3.90	4.40	4.898	熊本市 嘉島町 御船町
御船川	みぶねかわ 御船(御船橋)	11.500	2.00	3.00	3.60	4.30	4.660	熊本市 嘉島町 御船町

防災行動計画(タイムライン)

大規模な水災害による被害を最小化するためには、インフラの予防対策に加えて、災害が発生することを前提とした対応を強化する事が重要です。このため、国土交通省では時間軸に沿った防災行動計画(タイムライン)の策定及び実践に取り組むこととしており、熊本河川国道事務所では、熊本地方気象台、白川・緑川流域の3市4町と連携して防災行動計画(タイムライン)を策定し、防災行動で活用しております、併せて有効性の検証を行っています。



地域の方が自ら危険性を察知し、主体的に避難するための支援をします！

- 川の氾濫が発生することを前提に社会全体で常に洪水に備える「水防災意識社会」を再構築することを目的として、市町・県・国による**「白川・緑川水防災意識社会再構築協議会(大規模氾濫減災協議会)」**を設置し、減災のための目標と重点取組方針に基づき、関係機関と連携を図りながら、ハード・ソフト対策の両輪で減災対策に向けた取り組みを行っています。
- 自治体への支援強化だけでなく、地域の方への支援強化についても取り組んでいます。

水防災意識社会再構築ビジョン

白川・緑川の減災に係る取組方針

■目標

『水害に強いまちづくり』と『迅速で的確な避難行動』を目指す

■3本柱の取組

- 被害を最小化するための施設整備や緊急排水計画の策定及び地域コミュニティの活性化による避難体制の構築(※市町境を越えた広域避難体制の構築も含め検討)
- 地域住民の主体的な避難行動や、地域防災力向上に資する水防災教育や啓発活動の推進
- 正確でわかりやすい防災情報の発信

■白川・緑川の減災に関する重点取組方針

広域避難

広域避難を考慮した
ハザードマップ等の検討

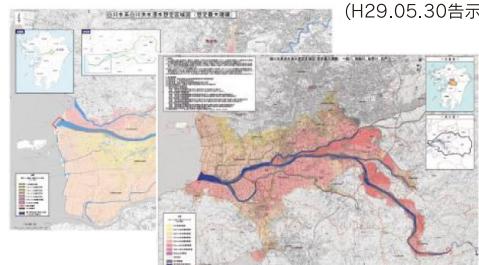
情報共有

防災情報の共有に資する
関係機関の情報一元化

防災教育

白川・緑川の素材を活かした
防災教育の推進

白川・緑川洪水浸水想定区域図(想定最大規模)
(H29.05.30告示)



防災力の向上を目的に授業支援を実施



熊本市立日吉東小学校の実践状況 (R4.9.22)

地域と連携した防災・減災の取組支援

まちなか防災



昭和28年白川大水害時の
浸水深表示や防災パネル
展示(R4.6.18～19)

S28.6.26水害の時期
に河川協力団体、商
店街組合、地元自主
防災クラブ等と連携
し、防災・減災の啓
発活動を実施してい
ます。

まるごとまちごとハザードマップ



熊本市本荘地区では、
S28.6.26洪水実績浸水
深の洪水標識を設置

居住地域をまるごと
ハザードマップと見
立て、生活空間である“まちなか”に水
防災にかかる情報を
表示(過去の洪水の
実績浸水深や想定浸
水深)する取り組みを
支援します。

マイ・タイムライン作成支援



熊本市力合西校区での
マイ・タイムライン(R1.7.6)

地域住民を対象と
した台風等の洪水
時に自分自身がと
る防災行動計画
「マイ・タイムラ
イン」の作成支援
を行っています。

大規模災害時の応援等に関する協定

地方公共団体の対応能力を超えるような大規模災害の場合には、災害発生直後の自治体は被災者の対応に追われ、被害状況把握などが非常に困難であり、国、自治体の双方で事前に災害対応の仕組みをルール化しておくことで、円滑な支援が可能になります。

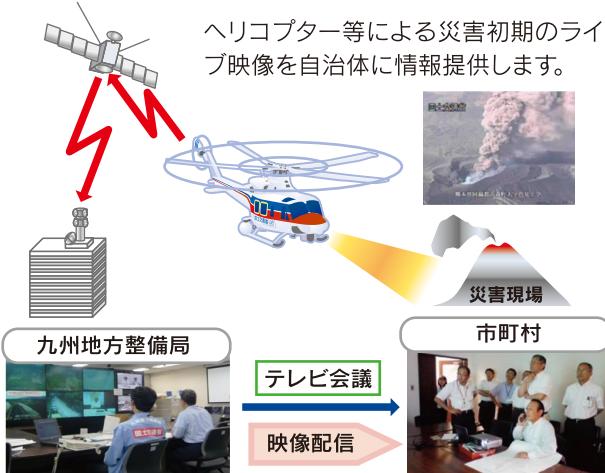
このため、九州地方整備局では管内市町村と応援に関する協定を締結しています。

応援内容；下記5事項の実施に係る資器材や職員の応援に関すること

- ①所管施設の被害状況の把握
- ②情報連絡網の構築
- ③現地情報連絡員（リエゾン）の派遣
- ④災害応急措置
- ⑤その他必要と認められる事項

情報共有・提供 技術支援 災害対策用機械の派遣

●情報共有・提供



●技術支援

大規模な自然災害に際して、被災状況の把握や被災地の早期復旧のための技術的支援を迅速に実施します。



●災害対策用機械の派遣

国土交通省が保有する災害対策用機械（排水ポンプ車、照明車、衛星通信車、無人化施工機械、除雪グレーダ、プラウ付凍結防止剤散布車等）を必要に応じ派遣します。



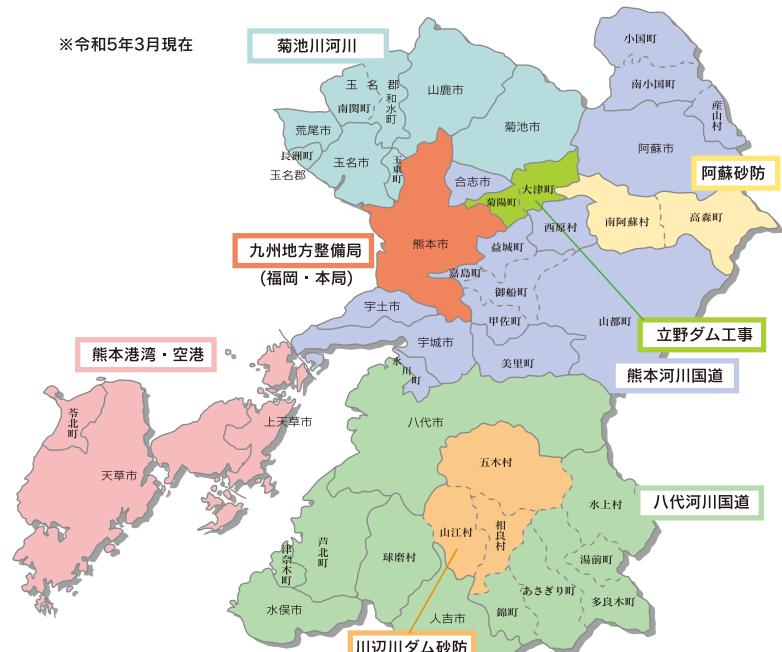
●熊本県内の担当事務所

自治体の皆様は情報提供をお願いします

災害協定に基づき大規模な災害が発生した時に、自治体への早期支援検討のために次の情報提供をお願いします。

- ・避難勧告等の発令
- ・大規模な災害が発生した場合・人身に係る災害が発生した場合
- また、冬季における凍結防止剤等の支援が必要な場合は、お近くの出張所までご連絡下さい。

※令和5年3月現在



〈応援要請の際の担当事務所〉

防災情報提供

熊本河川国道事務所に関する防災情報の提供

防災に関する情報は、熊本河川国道事務所のホームページや携帯サイトから入手できます。

●パソコンからアクセス

白川・緑川及び直轄国道の風水害に関する雨量・水位、ライブ映像などの情報及び道路が被災し交通規制を行った場合などの情報は、ホームページ(トップページ)又は「防災情報」よりリアルタイムに提供しています。

熊本河川国道事務所ホームページトップページ(<http://www.qsr.mlit.go.jp/kumamoto/>)

The screenshot shows the homepage of the Kumamoto River and National Roads Bureau. It features a top navigation bar with links for Home, Disaster Information, Road Information, River Information, Entry Quotas, and Bureau Information. Below this is a section for River Live Camera Information, displaying five live video feeds from the White River and Green River systems. A sidebar on the left contains news items and links to various services like river water level monitoring and disaster prevention measures. On the right, there's a Twitter feed from @mlt_kumamoto and a map of the area.

●河川ライブカメラ



白川・緑川のライブ画像を提供しています。



●道路ライブカメラ

国道3号・57号・208号・E3A南九州道、E77九州中央道、北側復旧道路のライブ画像を提供しています。



●携帯電話からアクセス

熊本河川国道事務所では、ライブカメラの映像による河川、道路情報を携帯サイトから提供しています。そのほか、各河川の水位や雨量情報等も提供しています。

QRコードで簡単アクセス



The mobile website interface includes a QR code at the top, followed by the text "国土交通省 九州地方整備局 熊本河川国道事務所". Below this is a menu with options: "menu", "防災情報", "ライブカメラ", "道路交通情報", "公共交通機関", and "ご注意".

ライブカメラの映像



緑川築地堰



滝室坂B

●レーダー雨量 白川・緑川流域の雨量・水位

レーダー雨量や白川・緑川流域の時間・累加雨量、各水位観測所の河川水位と水位危険度レベルを図示化して提供しています。

The diagram illustrates the navigation path from the homepage to various monitoring services:

- From the homepage:**
 - 防災情報** (Emergency Information) → **防災情報** (Emergency Information) page.
 - 白川・緑川の雨量** (White River - Green River Rainfall) → **白川・緑川流域の雨量** (White River - Green River Basin Rainfall) monitoring page.
 - 白川・緑川の水位** (White River - Green River Water Level) → **白川・緑川の水位** (White River - Green River Water Level) monitoring page.
- From the **防災情報** page:**
 - レーダー雨量情報をクリック** (Click on Radar Rainfall Information) → **レーダー雨量** (Radar Rainfall) monitoring page.
- From the **白川・緑川流域の雨量** page:**
 - 雨量観測所をクリック** (Click on Rainfall Observation Station) → **テレメータ雨量 湿ノ谷(ゆのたに)** (Telemetry Rainfall Yuno Valley) monitoring page.
- From the **白川・緑川の水位** page:**
 - 水位観測所をクリック** (Click on Water Level Observation Station) → **テレメータ水位 代里橋(よつばし)** (Telemetry Water Level Daizabashi) monitoring page.

●YouTube(河川カメラ)

YouTubeによる河川カメラ(ライブ動画)を配信しています。



その他河川は以下のURLより確認

http://www.qsr.mlit.go.jp/useful/kasen_youtube.html

●川の水位情報

危機管理型水位計・通常水位計・河川カメラの情報をインターネットやスマートフォン向けへ提供しています。



①危機管理型水位計に加え、通常水位計や河川カメラが同一画面に表示されます。



②リアルタイムの河川水位に対応して表示の色が変化し、危険度がわかります。



●浸水ナビ

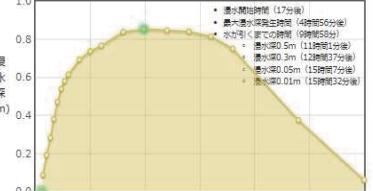
河川が堤防決壊等により氾濫した際に、いつ、どこが、どのくらいの深さまで浸水するのかをアニメーションやグラフで提供しています。



国土交通省 地点別浸水シミュレーション
<http://suiboumap.gsi.go.jp/>

指定した地点における浸水シミュレーショングラフの表示が可能

浸水シミュレーショングラフ (BPO48: 音更川KP7.40_右岸_破堤)



*折れ線グラフの破堤部分はデータがないため固定となります。

*グラフ画面内でマウスカーソル操作する上グラフの左側、縮小できます。

*拡大したグラフをマウスドラッグ操作するとグラフ表示内容の移動ができます。

指定地点の標高(T.Z.) 65m

●国道57号滝室坂および阿蘇口交差点付近の事前通行規制

滝室坂および阿蘇口交差点付近の事前通行規制を判断するため、基準となる「雨量」を1時間間隔で提供しています。

国道57号滝室坂の事前通行規制

国道57号滝室坂の事前通行規制

連続雨量が170mmに達した場合は
法面崩壊の危険があるため
全面通行止めになります。



「滝室坂の連続雨量」		
2020年11月25日 09時00分現在		
0 mm		

滝室坂の雨量 単位:mm		
路線	R57	観測局名
観測日時	時間	連続
11/24 21時00分	0	0
11/24 22時00分	0	0
11/24 23時00分	0	0
11/25 00時00分	0	0
11/25 01時00分	0	0
11/25 02時00分	0	0
11/25 03時00分	0	0
11/25 04時00分	0	0
11/25 05時00分	0	0
11/25 06時00分	0	0
11/25 07時00分	0	0
11/25 08時00分	0	0
11/25 09時00分	0	0

国道57号 阿蘇口交差点付近の事前通行規制

国道57号阿蘇口交差点付近の事前通行規制

連続雨量が200mmに達した場合は
法面崩壊の危険があるため
全面通行止めになります。



「瀬田の連続雨量」		
2022年02月07日 13時00分現在		
0 mm		

瀬田の雨量 単位:mm		
路線	R57	観測局名
観測日時	時間	連続
02/07 01時00分	0	0
02/07 02時00分	0	0
02/07 03時00分	0	0
02/07 04時00分	0	0
02/07 05時00分	0	0
02/07 06時00分	0	0
02/07 07時00分	0	0
02/07 08時00分	0	0
02/07 09時00分	0	0
02/07 10時00分	0	0
02/07 11時00分	0	0
02/07 12時00分	0	0
02/07 13時00分	0	0

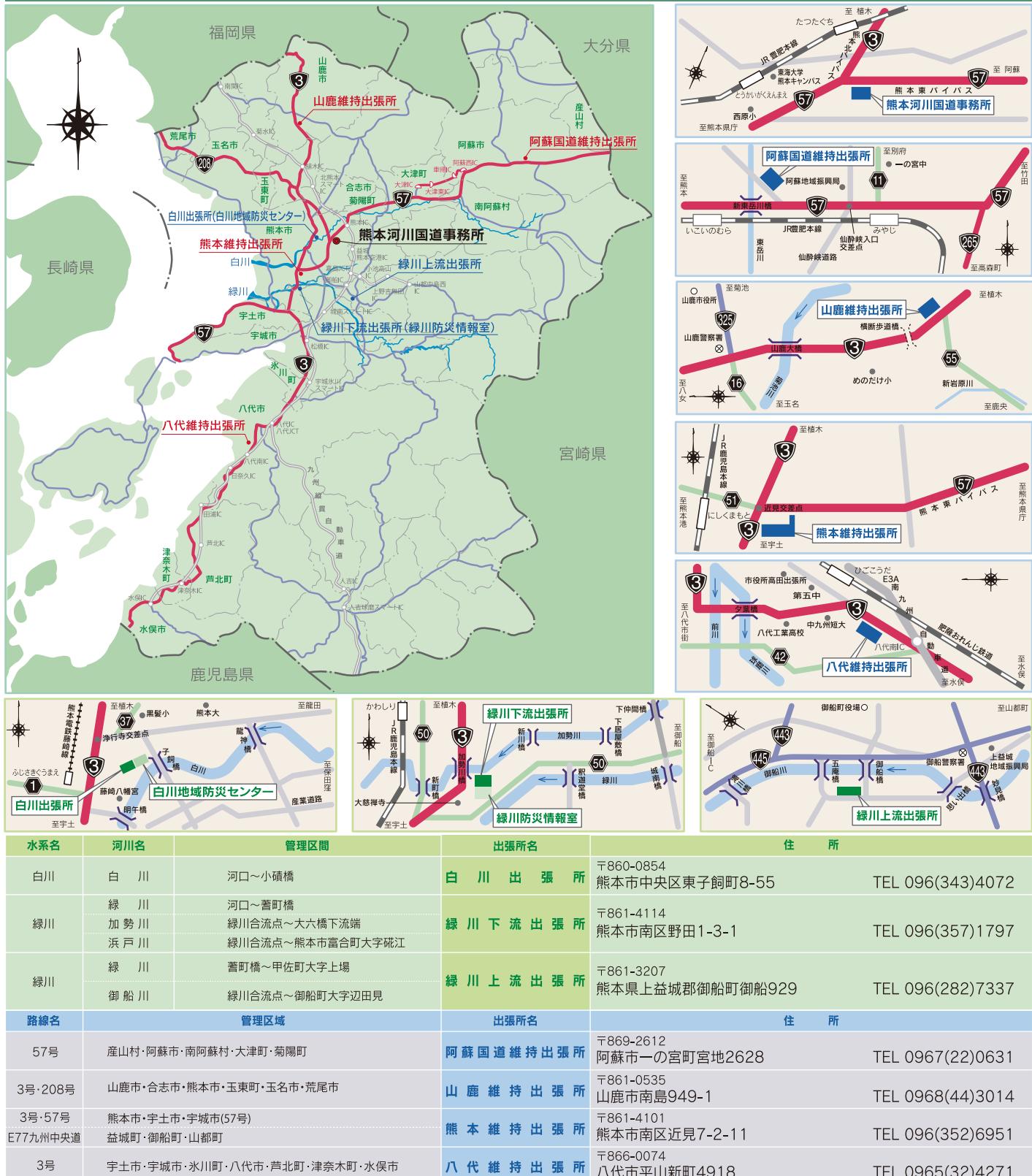
●熊本県の道路雨量

熊本県内の直轄道路周辺の雨量観測所の時間雨量・累加雨量を熊本県地図上にて提供しています。また、「雨量データ履歴」のクリックにより各雨量局の24時間履歴データを提供しています。



道路雨量データ履歴一覧表											
路線	R3	時間[an/a]									
観測日時	時間	連続	時間								
03/25 18時00分	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	1
03/25 19時00分	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1
03/25 20時00分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
03/25 21時00分	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0
03/25 22時00分	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
03/25 23時00分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
03/26 00時00分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
03/26 01時00分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
03/26 02時00分	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0
03/26 03時00分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
03/26 04時00分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
03/26 05時00分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
03/26 06時00分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
03/26 07時00分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
03/26 08時00分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
03/26 09時00分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
03/26 10時00分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
03/26 11時00分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
03/26 12時00分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
03/26 13時00分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
03/26 14時00分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
03/26 15時00分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
03/26 16時00分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
03/26 17時00分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
03/26 18時00分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
03/26 19時00分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
03/26 20時00分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
03/26 21時00分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
03/26 22時00分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
03/26 23時00分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
03/26 24時00分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
03/27 00時00分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
03/27 01時00分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
03/27 02時00分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
03/27 03時00分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
03/27 04時00分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
03/27 05時00分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
03/27 06時00分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
03/27 07時00分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
03/27 08時00分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
03/27 09時00分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
03/27 10時00分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
03/27 11時00分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
03/27 12時00分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
03/27 13時00分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
03/27 14時00分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
03/27 15時00分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
03/27 16時00分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
03/27 17時00分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
03/27 18時00分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
03/27 19時00分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
03/27 20時00分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
03/27 21時00分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
03/27 22時00分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
03/27 23時00分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
03/27 24時00分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
03/28 00時00分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
03/28 01時00分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
03/28 02時00分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
03/28 03時00分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
03/28 04時00分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
03/28 05時00分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
03/28 06時00分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
03/28 07時00分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
03/28 08時00分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
03/28 09時00分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
03/28 10時00分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
03/28 11時00分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
03/28 12時00分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
03/28 13時00分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
03/28 14時00分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
03/28 15時00分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
03/28 16時00分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
03/28 17時00分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
03/28 18時00分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
03/28 19時00分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
03/28 20時00分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
03/28 21時00分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
03/28 22時00分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
03/28 23時00分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
03/28 24時00分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
03/29 00時00分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
03/29 01時00分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
03/29 02時00分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
03/29 03時00分	0	0	0	0							

お問い合わせ先



国土交通省 九州地方整備局 熊本河川国道事務所

〒861-8029 熊本市東区西原1-12-1 TEL 096-382-1111

大雨・豪雨の時の情報提供 携帯電話・パソコンにより「雨量」「水位」等をリアルタイムで提供しています。

防災情報提供センター(インターネット)
<http://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/>

川の防災情報(インターネット)
<https://www.river.go.jp/portal/#80>

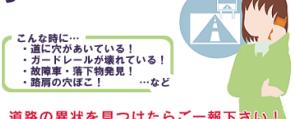


熊本河川国道事務所公式Twitter
https://twitter.com/mlit_kumamoto



幹線道路の異状を発見したら…

緊急通報
#9910
道路緊急ダイヤル24時間受付



道路の異状を見つけたらご一報下さい！

道に関するご意見・ご提案・ご相談をお寄せください！

道の相談室

TEL 092-672-5614
FAX 092-476-3514

受付時間 月～金 9:30～17:00
(土日祝日および年末年始は除く)

